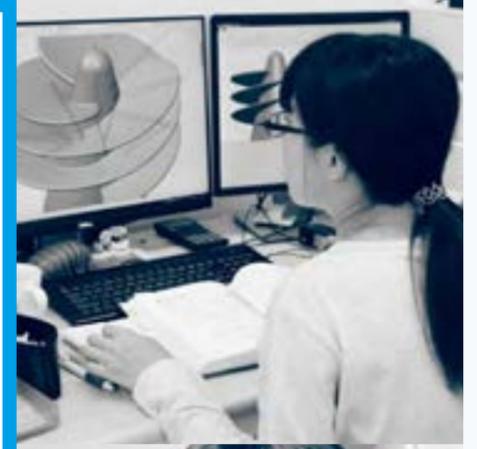




おおいた
ものづくり企業
ガイドブック
GUIDE BOOK 2018



おおいた
ものづくり企業
ガイドブック
GUIDE BOOK
2018



はじめに

大分市は、昭和39年の新産業都市の指定以降、鉄鋼、石油化学等の重化学工業が進出するとともに、近年では半導体、電子・電気機器、医療機器等の企業も立地するなど、様々な産業が集積しています。また、関連する企業の進出や地場中小企業の成長もあり、現在では九州一の製造品出荷額を誇る国内有数の工業都市となっています。

平成28年12月には、本市の商工業振興を総合的かつ計画的に推進するための具体的な指針である「第2次大分市商工業振興計画」を策定し、めざす都市のすがた「にぎわいと活力あふれる豊かなまち」の実現に向け、産業集積の推進や企業の競争力強化等を図る取組を進めています。

こうした中、優れた技術や製品等を有する市内企業の情報を広く発信することで、販路拡大や企業間連携を促進し、本市のものづくり産業の振興を図ることを目的に、このたび、第1弾として、65社*について「おおいたのものづくり企業ガイドブック」を作成いたしました。

本市には、金属加工をはじめ、機械器具製造などの各分野において“キラリと光るものづくり企業”が多数存在しています。この冊子を手にした皆様に、本市が誇る各企業の優れた技術や製品を知っていただくとともに、新たなパートナーとの出会いが数多く生まれ、取引の拡大や企業間連携につなげていただければ幸いです。

平成30年12月

大分市長 **佐藤 樹一郎**

※今回の掲載企業65社は、優れた技術や製品等を有する市内企業の中から、中小企業支援機関等がガイドブック掲載候補企業として推薦し、選定委員会を経て選定したものです。

掲載企業 MAP OITA CITY

“工業都市”大分

多種多様な企業集積

鉄鋼や石油化学、精密機械など、幅広い分野の産業が立地する大分市。昭和39年の新産業都市指定以降、国内を代表する大手企業の進出が進みました。地場の中小企業のなかには、これらの大手企業と取引をすることで実力を蓄え、域外（県外）まで事業を拡大する事業者も生まれています。関連する企業の進出や地場中小企業の成長もあり、現在では本市の製造品出荷額は九州で第1位となっています。

充実した交通網

陸上交通では、九州を南北に結ぶ東九州自動車道（北九州市～宮崎市）のインターチェンジが市内4箇所に設置されているほか、鉄道において、大ターミナルであるJR大分駅で日豊本線と豊肥本線、久大本線の3線が合流しています。また、海上交通では、豊後水道を経由して本州や四国向けフェリーが就航するほか、大分港大在地区を拠点として、九州と関東を結ぶ定期RORO船航路が3航路、週11便就航（九州最多）しています。また、中国や韓国、台湾への国際コンテナ船も就航しており、“東九州の玄関口”にふさわしい物流体制が整っています。

こうした多種多様な企業集積と充実した交通網が大分のものづくりを支えています。



CONTENTS

はじめに 1
掲載企業MAP 2

金属加工

01 ㈱相澤鉄工所 4
02 ㈱安達化工機 5
03 ㈱江藤製作所 6
04 ㈱大倉 7
05 ㈱オカモト 8
06 ㈱共立精巧 9

07 株KYOWA 10
08 株三邦 11
09 ㈱ツルタ精密 12
10 株トライテック 13
11 ㈱中野ステンレス 14
12 ㈱中村設備工業 15
13 ニシジマ精機株大分工場 16
14 株日本ビット 17

15 ㈱飛田機械 18
16 ㈱ホウザキ 19
17 ㈱宮地鐵工所 20
18 ㈱山順工業 21

機械器具製造

19 EAMS JAPAN株 22
20 ㈱石井工作研究所 23
21 ㈱エービー精工 24
22 エステイケイテクノロジー株 25
23 エネフォレスト株 26
24 ciRobotics株 27
25 シェルエレクトロニクス株 28
26 菅原工業株 29

27 株ターボブレード 30
28 タカキ製作所株 31
29 株ブライテック 32

電子部品・デバイス・電子回路製造

30 大分デバイステクノロジー株 33

木材・木製品製造

31 池見林産工業株 34
32 ㈱高橋木工製作所 35

繊維工業

33 ㈱イトダネーム 36
34 株太田旗店 37

化学工業

35 株キューメイ研究所 38

プラスチック製品製造

36 株サンライズ 39
37 日本フィルム株 40

印刷関連

38 春日印刷株 41
39 極東印刷紙工株 42
40 佐伯印刷株 43
41 株高山活版社 44

食料品製造

42 ㈱古山乳業 45
43 株ざびえる本舗 46
44 株シーアール 47
45 御菓子司 高橋水月堂 48
46 ユワキヤ醤油株 49
47 吉野食品株 50

情報通信

48 イジゲン株 51
49 株エイビス 52
50 株コイシ 53
51 株ザイナス 54

52 株ネオマルス 55
53 モバイルクリエイト株 56

その他

54 株インバクト 57
55 ㈱エス・エイ検査サービス 58
56 株エフ・ケイメカニク 59
57 沿海開発工業株 60

58 株大川技研 61
59 株木下築炉 62
60 株クリエイション 63
61 後藤体器株 64
62 ㈱ピーエムラボ 65
63 ㈱ビューティフルライフ 66
64 株ミカサ 67
65 ㈱和巧 68

資料編 69
索引 72

●各企業のカテゴリー分けについては、取材した内容をもとに分類した。
●掲載内容は、数値等も含め2018年9月～12月の取材時のもの。
詳細については、各企業にお問い合わせください。

01 難削材加工で半世紀。 精密部品生み出す

有限会社相澤鉄工所

独自の技術



電力会社向けに電線の束を収納する筒状の金属部品を試作した。同部品には高難度の技術を要する内径ローレット加工を採用。筒の内部に凹凸状の加工を施すことで滑り止めの機能を持たせている。

自社の強み



高い耐食性が特徴で原子力関連や化学プラントに使われるハステロイ。治具製作に加え長年の経験で培った切削ノウハウによって難削材の加工を実現している。

今後の展望



売り上げの2～3割を占める商社との業務を拡大するとともに、食品分野のサニタリー部品など新分野進出も目指す。人材採用では繊細な加工能力に秀でる女性登用を積極的に進める考えだ。

有限会社相澤鉄工所

TEL 097-592-0866
MAIL contact@aizawa-tekkosho.co.jp
住所 大分市屋山1860番地
URL http://www.aizawa-tekkosho.co.jp
設立 1968年9月
資本金 1,000万円
従業員 23人



スリーブ内径加工

独自技術の内径ローレット加工で販路広がる

現場の自動化へ

創業50周年を迎えた金属加工会社。ステンレスやチタン、ハステロイなど難削材の加工ができる。直径6ミリメートルの小型部品から化学プラントに使われるような3メートルの大型部品まで手がける。現場の自動化を進めて、女性が活躍できる企業体を目指している。

商社と取引

3年前に顧客開拓の一環で福岡のメーカー商社と取引を始めた。半導体分野の厳しい公差要求に応えられる技術で信頼を積み重ね、現在では売り上げの2～3割を占める得意先に成長した。顧客ごとの単価の見直しや新規開拓によって利益を出せる体制に改善。若返りを図りながら経験の承継を図る。



経営者から
ひとこと
代表取締役
相澤 逸夫さん

加工から組立、耐圧検査まで一貫体制を築いており、発注企業様の負担を軽減できます。これからも付加価値の高い仕事に取り組んでいきます。

●主な設備

縦型旋盤、横中ぐり盤、CNC旋盤、立型マシニングセンター

●主な取引先

旭化成株、旭化成メディカル株、リックス株、株上組、木村化工機株、(株)京製メック、(株)三井E&Sマシナリー 大分工場

02 航空宇宙分野での実績を持つ。 配管製作のスペシャリスト

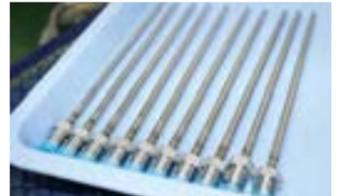
株式会社安達化工機

独自の技術



加工現場にクラス10000とクラス30000の清浄度が異なる2種類のクリーンルームを設置している。材料搬入から溶接、組立まで一貫して厳しい条件で製作できる。

自社の強み



化学プラント用の大型品から直径1.6ミリメートル程の極小配管まで対応している。チタンやハステロイなど難削材の加工にも精通、顧客の困り事に幅広く対応する。

今後の展望



主要取引先の半導体業界は波の激しい業界として知られる。長年培ってきた配管製作の技術を生かし、分解・洗浄・組立が容易なサニタリー配管で医薬品・食品業界への参入を目指す。



大型品から極小配管まで対応する

自動溶接機で極小の配管溶接も手がける

創業50周年

配管製作を得意とし、半導体工場向けを中心に展開する。創立当初はプラント関係の仕事がメイン。2018年に創業50周年を迎えた実力企業だ。クリーンルームをそなえ、自動溶接機や小型製品用の電解研磨装置などの設備投資に取り組み、高い競争力を持つ。

ステンレスを高品質仕上げ

航空宇宙分野でも実績を重ねる。人工衛星や探査機の打ち上げに使われるH2Aロケット本体への燃料供給用パイプを定期的に受注している。ステンレス材料を厳密な寸法で仕上げる高品質、高性能が売り。航空宇宙分野での実績は採用活動や新規顧客との取引にも貢献している。ベテラン技術者の技を次世代に継承しながら成長を続ける。



経営者から
ひとこと
代表取締役社長
安達 葉史さん

既存取引先の案件だけでなく新規領域への展開も見据えています。人材を大切にしながらベテラン技術者の技術継承に取り組んでいます。

●主な設備

クリーンルーム、帯鋸盤、自動ガス溶接機

●主な取引先

大陽日酸エンジニアリング株、東横化学株

株式会社安達化工機

TEL 097-521-1215
MAIL Aknet-info@ak-net.co.jp
住所 大分市大字種貝字台の上1316-1
URL http://www.ak-net.co.jp/
設立 1968年3月
資本金 3,000万円
従業員 36人

03 食品から宇宙まで 幅広い領域に事業展開

株式会社江藤製作所

独自の技術



ガス事業法・電気事業法関連設備や各種圧力容器など法規認定を要する構造物を製造する。高い安全性が要求される仕事であり、長年積み重ねてきたノウハウと高い技術力で業界の信頼を得ている。

自社の強み



3事業部門が相互に補完し合いながら事業展開しており、複合的な能力を発揮できる強みがある。さらに大きな案件に対しては、グループ企業全体で対応することもある。

今後の展望



18年10月に打ち上げられた小型環境観測衛星「てんこう」の共同開発プロジェクトに九州工業大学と大分県内企業3社とともに参加した。他分野にも応用可能な加工技術を提供しており、これを確立することで新たな事業展開も視野に入れる。

株式会社江藤製作所

TEL 097-521-1834
MAIL etoss@etoss.co.jp
住所 大分市乙津町4番7号
URL http://www.etoss.co.jp/
設立 1973年2月
資本金 4,000万円
従業員 69人



高品質が要求される食品向けタンク

新分野を見据え、航空宇宙関連の規格も取得

3つの柱

ガス・レーザー・プラズマ切断機を駆使し金属の切断加工を行う「溶断事業部」、鋼構造物、機械装置、各種容器等の設計・製作を手掛ける「化工機事業部」、板金加工品から治具・工具、メカトロ製品まで対応する「精密板金塗装事業部」の3事業部を展開。鉄鋼関連から食品・医療・エネルギー・航空宇宙など幅広い業界との取引がある。

大分市に本社を構える江藤酸素株の関連会社で、その高い加工技術には定評がある。

航空・宇宙も視野

新規分野の開拓にも積極的で、炭素繊維強化プラスチック(CFRP)の加工技術にも挑戦。2017年には航空宇宙関連のJIS規格「JISQ9100:2016/ISQ9100:2015」の認証も取得した。



働く人の声
化工機事業部
大分工場長
神野 修一さん

大分工場には天井高が25メートルの建屋もあります。大型タンクも現地で組み立てる必要がなく、当社で組み立てて出荷が可能です。

●主な設備

大型レーザー切断機、油圧プレス (500t)、
ファイバーレーザー切断機、
円錐曲げベンディングローラー ほか

●主な取引先

大手エンジニアリング会社、
医薬品関連会社、食品関連会社、
エネルギー関連会社

04 プレジャーボート向けサッシで高いシェア。 提案力、意匠性で支持集める

株式会社大倉

独自の技術



ガラス製品の施工はボルトを使った取付が困難な上、水漏れの高リスク。そこで、当社は自動車ガラスの施工実績を元に、船の特性を考慮しながらメーカーの協力を得て、塩害に強くガラスやサッシとの相性の良いオリジナル接着剤を開発した。

自社の強み

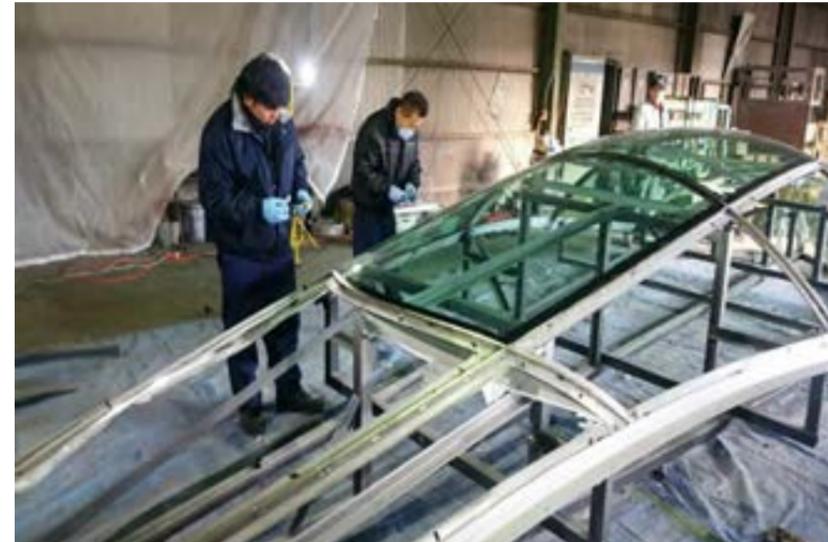


自動車向けや店舗向けガラスを手がけていたため、デザイン性の高いガラスの提案、施工を得意とする。外観が重視されるプレジャーボートの業界では、その提案力や意匠性が高く評価されている。

今後の展望



大手プレジャーボートメーカーに対するサッシの供給シェア率90%以上を維持しつつ、作業船や漁船、官公庁向けなど中型船のサッシ市場の開拓を目指す。



3次元曲げガラスの製作・施工実績もある

一品一品に職人の思い込める

技術を活用

小型船舶、中でも国内のプレジャーボート向け船舶用サッシで高いシェアを誇る。もともとは自動車や店舗のガラスの販売、施工を手がけてきたが、そこで培った技術を活用して船舶サッシ業界に参入した。

他社にないノウハウ

船舶向け窓枠サッシは統一された寸法規格がなく、一品一品、熟練した職人の手によって製作される。水漏れを防ぐなど安全面に対する技術と高い意識が求められる。ガラスメーカーとは50年以上の付き合いがあり、他社にはないガラスの取扱ノウハウがある。また、サッシの製造・販売から出張によるサッシの取付や交換まで自社で手がけている。



働く人の声
製造課長
竹内 誠一さん

難しい注文に対しても社員で話し合って協力し、諦めずにやるのが当社の自慢です。溶接をするときには気持ちを込めています。

●主な設備

NC付切断機、
ベンディングマシーン、
アルミ TIG 溶接

●主な取引先

ヤンマー造船(株)、ヤマハ発動機(株)、
官公庁
日本全国の一般造船所 50社以上

株式会社大倉

TEL 097-551-4128
MAIL senpaku@okura-glass.com
住所 大分市大州浜1丁目5番31号
URL http://www.okura-glass.com
設立 1968年
資本金 1,000万円
従業員 43人

05 「技術力と発想力」武器に、航空機部品も修理加工

株式会社オカモト

独自の技術



工場内は年間を通して気温の差が大きく、金属の状況も変化する。その中で時には、1000分の5ミリメートルの精度を求められることもあり、これにどう応えるかは独自のノウハウがある。

自社の強み



預かった部品の取り扱いに注意が必要なものもあり、大型部品の修理を手がける業者は少ない。同社は「技術力と発想力」とともに、蓄積された経験をデータ化して、これに対応している。

今後の展望



10数年前に新人採用を積極的に進めた効果もあり、現在は社内の若返りが進んだ。熟練の職人も安心して働ける社内環境が整い、技術の伝承がスムーズに進んでいる。

株式会社オカモト

TEL 097-569-5555
MAIL info@okamotomfg.co.jp
住所 大分市下郡工業団地3154-4
URL -
設立 1946年
資本金 1,000万円
従業員 13人



高い精度を実現したシャフト部品

商社通さず、ユーザーらと直接取引

県外中心に取引

県内外の大手プラント会社や造船所、プレス機器メーカーにシャフト部品、クランク軸などを供給している。「当社の設備はこの鉄工所にもあるもの」という岡本社長。8割以上が県外や海外との直接取引で、商社を通さずユーザーや修理業者と直接取引することが特色。結果としてリードタイムの短縮につながり、低コストでの提供が可能になるという。

航空機で信用を得る

同社は米連邦航空局（FAA）や欧州航空安全庁（EASA）が定める航空機の部品修理工場の委託条件を満たしており、日本航空や全日本空輸系列の航空機整備会社から、ボーイング機のランディングギア用ピストンの修理を引き受けている。専任の作業員や専用の承認済検査機器を用意する必要があるが「航空機産業に携わっていることは信用を得るための大きなメリットとなっている」（岡本社長）。



経営者からひとこと
代表取締役
岡本 基さん

今ある技術は5~10年後には使えなくなっているかもしれません。常に新しい製品、技術に取り組む必要があります。

●主な設備

大型・中型研削盤、大型・中型旋盤、中グリ盤

●主な取引先

昭和電工(株)、(株)三井E&Sマシナリー、(株)神戸製鋼所、(株)日本製鋼所、三菱重工業(株)、日本航空(株)

06 高硬度の金属加工を武器に、有力企業と直接取引

有限会社共立精巧

独自の技術



少量多品種の仕事ではなく、大物加工を志向する同社。大型の工作機械を導入しているが、自動化ができない部分も多い。機械に頼るだけでなく、職人の技術を活用する。

自社の強み



硬度が85度前後の堅い金属の加工を得意とする。大分県内の企業では珍しいという。建築用鉄筋の圧延ラインで使われる金属の場合、特殊なセラミックス系のチップを使って加工を行う。

今後の展望



「一部の大手企業に依存するのではなく、複数の企業と取引できるようにしたい」という守田社長。従業員のレベルをもう一段階引き上げ、「新たな設備投資を検討したい」としている。



製鉄所向け圧延機関連部品

優れた技術を有する企業を承継

商社通さず取引

もともとは商社マンだったという守田社長。5年ほど前、取引先だった共立精巧が廃業を検討していた。

「良い技術を持っているのもったいない」と思っていた守田社長は打診を受け、経営を引き継いだ。

大半が商社を通さない直接取引であるのが同社の特徴。製鉄所向けの圧延機関連の部品や、精錬所で使われる純銅製の部品などを製造する。

新工機開発

新分野として小風力発電設備の開発に取り組む。街路灯と防犯カメラを搭載した防犯設備としての活用が想定されており、発電網が発達していないアジア諸国での利用が寄せられている。



経営者からひとこと
代表取締役
守田 博徳さん

顧客からは基本的な条件提示はありますが、当社独自の治具やノウハウを活用して金属加工を行います。付加価値の高い仕事をしていきたいと思っております。

●主な設備

テーブル型横中ぐり盤、汎用NC旋盤、立型マシニングセンタ

●主な取引先

日鉄住金テクノロジー(株)、(株)岩田鐵工所、藤井商事(株)

有限会社共立精巧

TEL 097-592-3633
MAIL kyourituseikou@wish.ocn.ne.jp
住所 大分市大分流通業務団地2丁目5番地3
URL -
設立 1990年
資本金 300万円
従業員 9人

07 世界が認める穴開け加工のスペシャリスト

株式会社 KYOWA

独自の技術



設立当初から管板の大型化を見込み、大型機械の先行投資を積極的に実施した。メーカーが穴開けの内製を諦め外注に切り替える中、小型から5メートル以上10メートル以下の大型品まで幅広く対応する。

自社の強み



管板と邪マ板は重量の関係上、陸上輸送が難しい場合が多い。当社は埠頭に隣接する立地条件をいかすとともに、300トンクレーンを活用し、世界中への海上輸送を可能としている。

今後の展望



熱交換器はプラント建設において必要不可欠な製品だが、大型プラントの受注は数年単位で景気の波がある。谷間の期間に需要と供給を見ながら穴開け以外の機械加工にも取り組む構えだ。

株式会社 KYOWA

TEL 097-524-2111
MAIL info@kyowa-s.jp
住所 大分市大字日吉原3番地18
URL http://www.kyowa-s.jp
設立 1968年4月
資本金 1,000万円
従業員 30人



穴開け加工を施した熱交換器用部品

熱交換器の重要部品を製作

高度な穴開け技術

産業界や生活に欠かせない熱交換器用の重要部品「管板」と「邪マ板」を製作する。金属板に均等かつ均一に少しの誤差なく穴開け加工を施すのは至難の業。数メートル級の製品では穴の数が数万個単位となることもある。世界でも有数の技術を頼って国内外の名だたる大手企業が直接依頼する。

パートナーとして

導入した機械と職人が使う工具は穴開けに特化した特注品。金属板の硬度など特性を見極めながらノンストップで穴開けする。発注先企業からの認識は下請けではなく「パートナー」。管板と邪マ板製作のオンリーワン技術で、世界のモノづくりを支える。



経営者からひとこと

代表取締役社長
青山 康夫さん

何千、何万枚もの金属板の穴開け加工実績があります。機械をそろえただけではまねできない経験と実績で、顧客満足度の高い製品を製作いたします。

●主な設備

NC制御ドリルセンター、
BTA深孔専用機、NC制御立旋盤、
NC制御横フライス中ぐり盤

●主な取引先

国内外の熱交換器メーカー

08 難度の高い金属加工に挑戦。県外にも販路開く

株式会社三邦

独自の技術



湾曲した板など特殊な形状の加工を得意とする。ロール状の金属板をローラーの圧力で成型するが、加工する際の位置や幅には独自のノウハウがあり、その蓄積が会社にとっての財産となっている。

自社の強み



顧客の求めに応じて「大手企業でもできないと言われる」（嶋津社長）ような、難度の高い仕事に対応してきた。若手社員にも失敗を恐れずに取り組むよう指導するなど、挑戦の姿勢を貫く。

今後の展望



現在は大分県内向けの仕事が6割を占める。嶋津社長は「九州全域に販路があり、大分で培った技術が県外でも求められるなら、さらに伸ばしたい」と意欲を見せている。

株式会社三邦

TEL 097-593-3222
MAIL sanpou@crest.ocn.ne.jp
住所 大分市大分流通業務団地2丁目7番地1
URL www.sanpou-roof.co.jp
設立 1981年2月
資本金 5,000万円
従業員 25人



ロール状の金属板を指定長さに切断しロール成型加工

九州トップクラスの生産能力

移転を機に

金属製の屋根材、壁材の加工を主に、建材の卸売りなどを事業とする。2007年に現在地へ移転。4本の製造ラインと金属材料の倉庫を備え、「生産能力は九州地区でもトップクラス」（嶋津社長）と自負する。

公共施設で利用

同社の製造した屋根材はドラッグストアの九州地区の多数の店舗で使われている。また学校の体育館など公共施設でも採用が多く、2019年にオープンする大分スポーツ公園内の県立屋内スポーツ施設にも採用された。

製品品質の裏付けとなる金属製折板屋根構成材のJIS規格「A6514」の認定も受けている。



●主な設備

ロールフォーミング成型機、
天井クレーン

●主な取引先

日本鋳板㈱、大和ハウス工業㈱、
建築板金業者

09 最新鋭の設備をフル活用。大物加工に強み

有限会社ツルタ精密

独自の技術



新設した工場に3台の大型マシンングセンタを保有する。いずれも加工寸法が2~3メートルと大物加工に対応しており、多様な鋼材も受注可能な高速回転仕様としている。

自社の強み



「品質と納期には絶対の自信がある」と、鶴田社長。部品の大きさが数メートルに及ぶ加工品は加工部分以外のところに傷を付ける可能性もあるため、細心の注意で取り扱う。

今後の展望



鶴田社長は「将来は組み立てなども含めて装置として受注したい」と話す。半導体関連の取り扱いで技術力には自信を持っており、他の分野にも仕事を広げていきたいと意欲を見せる。

有限会社ツルタ精密

TEL 097-524-1414
MAIL turuta@hyper.ocn.ne.jp
住所 大分市三佐6丁目2番35号
URL -
設立 1999年
資本金 300万円
従業員 4人



最新鋭の工作機械を複数保有する

高速回転仕様・大物加工・五軸加工が特徴

特別仕様

半導体や製鉄、造船などの業界向けにアルミニウムやステンレスなどの各種金属加工を手がける。

先代社長が創業した当時、金型製作を手がける予定で導入した設備の切削部の高速回転仕様が、一般的に加工が難しいとされるアルミニウム加工に適していたことがきっかけであった。その後、他の鋼材も含めて、金属部品等加工分野で発展。これに大物加工の強みとの相乗効果で、高いQCDを実現している。

機械を連携

五軸加工のマシンングセンタなど最新鋭の工作機械を複数保有。機械同士を連携して加工データを蓄積、生産性の向上につなげている。



経営者からひとこと
代表取締役
鶴田 薫さん

町工場でこれだけの設備を持っている会社は少ないと思います。取引先のニーズ・環境の変化に合わせて、これからも設備投資をはじめとした「強い会社づくり」をしていきたいです。

●主な設備

門型マシンングセンタ、立型マシンングセンタ

●主な取引先

半導体製造装置メーカー、産業機械メーカー

10 自社製品が国内の製鉄所で活躍。知財戦略にも強み

株式会社トライテック

独自の技術



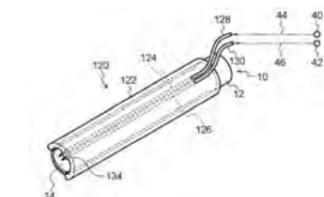
大分県内の中小企業では珍しく、知財課を社内に置く。開発した製品については売り上げが見込めそうなものについてのみ、特許を出願することを基本戦略としている。

自社の強み



金属加工などは社外の協力工場に任せ、他社が持たない設備を自社で保有する。イタリア製のスリーロール転造機、金属にセラミックスの被膜を付けるプラズマ溶射機などが活躍している。

今後の展望



医療分野など新分野の開拓を進めている。その一つとして腹腔鏡手術に使う硬性の内視鏡洗浄装置を開発中。手術時間の大幅な短縮を実現するもので、2年以内の製品化を目指す。



大型製品も設計からできるのが強み

国内シェア4割を誇る自社製品。海外展開も視野

製鉄に貢献

売り上げの7割以上を製鉄所向けの工具で占める。高炉出銃ドリルロッド、高温の銑鉄が流れる樋、耐熱・耐摩耗処理など各地の製鉄所で使われる物を独自に開発、施工してきた。

PCバーナー

代表的な製品の 하나가「PCバーナー」と呼ばれる、製鉄所の高炉に補助燃料である微粉炭を吹き込むパイプだ。従来固定式だった物を回転式にすることで設備の損傷を回避することに成功。高炉の安定操作に貢献する。国内の高炉で使われる物としては、シェア4割に達するという。現在台湾やインドでもテスト販売を行っており、海外への広がりも期待されている。



経営者からひとこと
代表取締役
竹崎 博さん

「不可能を可能にする会社」を経営理念に掲げています。顧客の困りごとに耳を傾けて、社員みんなで寄ってたかってアイデアを絞り出す会社です。

●主な設備

3R転造機、溶射装置、溶接機、プラスト装置

●主な取引先

国内外大手製鉄メーカー

株式会社トライテック

TEL 097-578-6156
MAIL info@trytec.jp
住所 大分市青崎1丁目3番42号
URL http://www.trytec-japan.com/
設立 2005年5月
資本金 1,000万円
従業員 27人

11 ステンレスを自社で一貫加工。 ベテラン社員が貢献

有限会社中野ステンレス

独自の技術



高い技術を要するシンクの製作を得意とする。1枚の板から折り曲げ加工と溶接を行い、R部分はハンマーでたたいて型を整える。加工するときには傷を付けてはいけないという難しさがある。

自社の強み



ほぼ全ての製作を自社で行っている。材料の切断から曲げ加工、溶接、仕上げまでを自社で一貫対応する。小ロット、短納期に対応することで顧客の支持を得ている。

今後の展望



10年以上の経験を持つ社員が多い同社。技術レベルの高さの裏付けでもあるが、「コミュニケーション力のある、若い人を入れたい」と中野社長。提案営業で仕事の領域を拡大したいと意気込む。

有限会社中野ステンレス

TEL 097-521-7161
MAIL nakano_s@movie.ocn.ne.jp
住所 大分市大字三佐2380番地の12
URL http://nakano-stainless.sunsun-net.com
設立 1988年11月
資本金 300万円
従業員 7人



学校の階段の手すり

職人のセンスが光る金属加工品

意匠性高い加工

建築関係や装飾金物などのステンレス製品を中心に金属加工を行う事業者。

主に大分県内にオリジナル製品を供給し、フェンスや手すり、門扉、門板、モニュメントなど意匠性の高い加工にも対応。3年前に就任した中野実社長は「意匠品は職人によって癖がある。最終的にはセンス」という。

公共施設の実績

大分空港やJRの駅、水族館などの公共施設の取り扱い実績も多い。近年は旅客用フェリーの手すりなども製作する。

金属切断機や曲げ加工機を保有しており、溶接、研磨なども自社で手がける。



経営者から
ひとこと
代表取締役
中野 実さん

既存先から「新しい仕事をやりませんか」と声をかけられることもあります。外に出て行ける若い人と一緒に仕事の領域を広げていきたいと思っています。

●主な設備

シャーリング切断機、
プレスベンダー加工機、
TIG溶接機

●主な取引先

ゼネコン、
地場工務店ほか

12 各種金属の「曲げ」のスペシャリスト。 社員の多能工化も推進

有限会社中村設備工業

独自の技術



10年ほど前から社員2人でペアを組み、2～3年ごとに職務をローテーションする試みを続けている。より多くの機械を取り扱えるようにする「多能工化」が狙いだ。

自社の強み



アタッチメントという曲げの機械を改良し、歪みがでないような工夫を施している。数多くの曲げを経験してきた同社ならではのノウハウを、加工機械にも反映している。

今後の展望



「曲げ」へのこだわりを貫く。勉強のために同業他社の工場へ社員を送り込むこともあるという。現在最大で300トンのプレス機を、将来的には700トン級にまで拡大したい考え。



「曲げのスペシャリスト」としてのブランド化をめざす

高速道トンネルのH鋼の取り扱いきっかけに

曲げの専門家

鉄やアルミニウム、ステンレスなど各種鋼材の切断、曲げ加工に特化した専門事業者。当初は鉄鋼会社の構内業務が主だったが、大分県内の高速道路のトンネルに使われるH鋼の加工を手がけたことが現在の事業の転機となった。

300社と取引

「曲げ加工専門の会社は大分県内では当社だけ」（田口社長）ということもあり、大手企業を含めて約300社と取引実績がある。

加工した鋼材はエネルギー分野の配管や鉄鋼会社、自動車、航空機などあらゆる分野へ供給。プラント向け鋼材、建築用鋼材のほか、アーケードの角パイプ、ジェットコースターのレールなどとしても使われている。



経営者から
ひとこと
代表取締役
田口 由香里さん

曲げの専門工場として、スペシャリストがそろっています。顧客から信頼していただける「曲げの中村」としてのブランド化を目指しています。

●主な設備

ベンディングロール、油圧プレス機、
パイプベンダー、アングルベンダー、
製缶プレス、プレスブレーキ

●主な取引先

新日鐵住金(株)、(株)三井E&S鉄構エンジニアリング、
(株)竹中工務店、(株)南日本造船、
五洋建設(株)、小野建機

有限会社中村設備工業

TEL 097-551-3218
MAIL n-taguchi@nakamurasetubi.co.jp
住所 大分市原川1丁目1番16号
URL https://www.nakamurasetubi.co.jp
設立 1969年10月
資本金 500万円
従業員 13人

13 電線メーカーの設備製作やメンテナンスに従事。航空宇宙事業にも布石

ニシジマ精機株式会社大分工場

独自の技術



本工場には30トンのクレーンを備え、造船や製鉄所向けの大物加工の仕事も拡大している。西嶋社長は「設備面でも他社との違いを明確にしていきたい」と意気込む。

自社の強み



自社内で一貫生産ができることが強み。大分工場が稼働したことでメンテナンス事業のノウハウも習得することができた。今後は九州全域でメンテナンス事業を手がけたい考えだ。

今後の展望



18年10月に打ち上げられた小型環境観測衛星「てんこう」の共同開発プロジェクトに九州工業大学と大分県内の企業3社とともに参加した。過酷な宇宙環境に耐える内部構造体の製作に携わった。今後はこの経験を活かし、航空宇宙事業への参入も視野に入れている。

ニシジマ精機株式会社大分工場

TEL 097-569-0316
MAIL masayuki@nisijima.jp
住所 大分市大字下郡3182番地の5
URL http://www.nisijima.jp
設立 2015年10月
資本金 1,000万円
従業員 14人



西日本電線(株)本社内でメンテナンス業務に従事

大物加工手がける佐伯本社と両輪で成長

M&A

本社は大分県佐伯市にあり、製缶から溶接、加工、組み立てまで幅広く手がける。大分工場は2015年10月、M&A(合併・買収)により他社の事業を引き継いだ事業所。主として西日本電線(株)本社で電線製造設備や治工具の製作、設備のメンテナンスを手がけている。

豊富な知識

西日本電線(株)で使われている電線製造ラインの巻取機、引取機、束取機などの製作を担う。以前の会社から引き継いだ人材は電線製造設備に精通しており、機械の修理や改善、材料選定について豊富な知識を有している。中型、大型の物件を取り扱う佐伯本社の特色も生かし、地域のものづくりに貢献する。



経営者からひとこと
代表取締役
西嶋 真由 さん

これから10年は人を抱えている会社が勝てると思っています。人を増やし、大切に育てながら佐伯と大分の両輪で事業を拡大していきます。

●主な設備

門型5面加工機、CNC旋盤、ターニングセンター、高速横型マシニングセンター、天井クレーン(30t)

●主な取引先

西日本電線(株)、三菱重工業(株)広島製作所、三菱重工業(株)長崎造船所、株三井E&Sマシナリー大分工場、新日鐵住金(株)大分製鉄所

14 建設用金属製品の開発・設計、製造から施工・保守まで一貫対応。防水板(浸水防止用設備)の市場拡大中

株式会社日本ピット

独自の技術



津波対策用防水扉は大分大学との共同研究を基に製品化した。当初は100%協力企業による生産であったが、現在はQC向上を図るために、社内人材を育成し、自社生産体制を構築している。

自社の強み



メーカーでありながら20年以上前から施工を手掛けてきた。『施工が確実に進んで初めて製品として100%』『現場を知らずして良い製品はできない』という理念からノウハウを磨いてきた。この施工力が『自ら売り切る力』として大きな武器になっている。

今後の展望



防水板に続く自社開発製品がマシンハッチ。通常は床として使用し、機器の搬出入などで開口が必要になった場合に開閉が出来る床ハッチ。大開口部、耐水、耐火、防水など様々な設計条件に対応する。ごみ処理施設や鉄道、道路建設に係る施設などでの使用を想定する。



さまざまな材質、形状のピットを製作する

建物、施設向け金属建材、機械装置でインフラ整備に貢献

ピット製造

建築物向けの金属建材、機械装置を製造・販売する事業者。

市場のニーズを吸い上げ、様々な製品を開発し、世に送り出している。

近年では台風やゲリラ豪雨などの際に建物・施設への浸水を防ぐ浸水防止用設備『防水板』や『津波対策用防水扉』、床開口部から機器を搬出入する際に使用する『マシンハッチ』などを市場に投入した。

防水板

防水板は脱着式、シート式、電動起伏式、スライド式などをラインナップし、全社売上の3割を占めるほどになった。こうした製品は大手企業との競合もあるが、専門性を高め、特許出願を積極的に行うなどし、業界での立ち位置を確固たるものにしていく。



経営者からひとこと
代表取締役社長
浦崎 希 さん

社会を豊かにする製品とサービスを提供し続けることが私たちの使命です。常に社会の課題やお客様の悩みに目を配り、金属製品を通じて解決する方法をご提案して行きたいと考えています。

●主な設備

ターゲットパンチプレス、プレス機、シャーリング

●主な取引先

大成建設(株)、清水建設(株)、鹿島建設(株)

株式会社日本ピット

TEL 097-568-4141
MAIL soumu@nihon-pit.co.jp
住所 大分市下郡3260番地の9
URL http://www.nihon-pit.co.jp/
設立 1973年
資本金 1,365万円
従業員 67人

金属加工

金属加工

15 少数精鋭で 難削材加工を手がける

有限会社飛田機械

独自の技術



難削材の代表と言われるステンレスを中心にアルミなど多様な金属加工を手がける。既成工具を独自に加工するとともに、切削条件など、これまで積み重ねてきたノウハウを基に製品を製作する。

自社の強み



省力化を推し進めるため切断工程の自動化など積極的に設備投資を行っている。不良率の低さ、納期の絶対厳守、迅速なアフターフォローなどにより、顧客より支持されている。

今後の展望



主力事業の半導体製造装置部品に続く事業の柱を育てる考えだ。近年、参入したロボット鋳物加工に加えて、市場の拡大が見込まれる医療分野を視野に入れている。

有限会社飛田機械

TEL 097-593-1728
MAIL hida@silk.ocn.ne.jp
住所 大分市久土500-53
URL https://www.hidakikai.com/
設立 1988年10月
資本金 300万円
従業員 5人



高精度を要求されるロボット部品加工

ロボット部品加工に参入

半導体での仕事で信頼

2018年に創業30周年を迎えた複雑形状の精密機械部品を主力製品として製造する事業者。約20年前より難削材と言われるステンレスを中心に半導体製造装置部品を手がけ始める。長年の半導体分野の仕事で培った高い加工品位や品質管理で、近年では搬送用ロボットの部品加工も手がけている。

短納期加工を実現

一昨年、国のものづくり補助金を活用した設備投資をしている。新たにマシニングセンタを新規導入し、治具を工夫することで段取り工程の削減が可能となった。更に治具付け替え時に発生する発注元の精度検査を受ける必要がなくなったため、納期の短縮が可能となり、受注できる製品の幅を広げることとなった。



働く人の声

専務取締役
飛田 邦博さん

少数精鋭の会社で、1+1=2ではなく3になるよう付加価値の高いものづくりを心掛けております。顧客のニーズに柔軟に対応し、改善提案いたします。

●主な設備

横型マシニングセンタ、
立型マシニングセンタ、
NCフライス

●主な取引先

東京エレクトロン九州㈱、
株安川電機

16 鉄筋のユニット化に独自技術。 ドーム建設で自信

有限会社ハウザキ

独自の技術



建物の主要部分となる柱や梁(はり)などをユニット化することで、現場での組み立て作業の効率化、省力化を実現。高所作業を減らすことができるので、安全性の確保にもつながっている。

自社の強み



発注先からの注文に対して自社なりの図面を作成し、使用する鉄筋の寸法を割り出す必要がある。過去の施工実績に基づいた発想が重視されるため、同社の豊富な実績が大いに役立っている。

今後の展望



取引がある大手ゼネコンから海外での仕事を打診されることもある。「日本の建設技術は世界一」(芳崎社長)という自負があるだけに、機会があればより広い世界での活躍を願う。



棒状の鉄筋を切断、曲げ加工する現場

九州各地で施工実績

毎月2,000トンを加工

建築、土木現場で利用される鉄筋の加工と現場施工を行う。大分県内のほか、九州各地へ出張して対応する。

棒状で仕入れた鉄筋を同社で切断、曲げ加工し、建築現場で使える状態にする。鉄筋は太さも長さもさまざまで、加工量は毎月2,000トンに達する。

ビッグプロジェクト

大分県内の公共施設を数多く手がけているが、「後にも先にもこれだけ大きなものはない」(芳崎社長)というのが大分スポーツ公園総合競技場ドームの建設工事だった。工事で使われた鉄筋の重量は1万6,000トン。同社だけで全量を取り扱ったビッグプロジェクトをやり遂げたことが「会社としての大きな自信につながっている」(同)という。



経営者からひとこと

代表取締役
芳崎 一郎さん

自然災害の影響もあり、鉄筋の基準は毎年厳しくなっています。目に見えない仕事だからこそ、プロとしての仕事をしたいと思っています。

●主な設備

鉄筋自動切断機、鉄筋自動曲装置

●主な取引先

株竹中工務店、大成建設㈱、西松建設㈱

有限会社ハウザキ

TEL 097-569-5971
MAIL housaki@silk.plala.or.jp
住所 大分市大字曲408-1
URL http://www.houzaki.jp/
設立 1967年
資本金 300万円
従業員 32人

17 大物部品加工に強み。 一貫生産でさらなる飛躍目指す

株式会社宮地鐵工所

独自の技術



大分市内の三佐工場に大型のMCを3台保有する。近年は製缶から加工まで一貫して手がけることも多くなっており「精度の高い仕事ができる」(宮地社長)と自信を見せる。

自社の強み



先代社長の時代から大物装備部品の加工を志向してきた。県内では大物加工を行える事業者が少ないこともあり、現在も工作機械は高稼働の状態が続いているという。

今後の展望



工程管理システムを新たに導入する準備を進めている。発注登録から工程、進捗状況を即時に把握できるようになる。将来的には大分市内の2工場をこのシステムで連結する考えた。

株式会社宮地鐵工所

TEL 097-522-1651
MAIL ryuhei6262@gmail.com
住所 大分市青崎1丁目12番46号
URL http://miyaji-ironworks.com
設立 1978年8月
資本金 1,000万円
従業員 16人



最新の大型マシニングセンタを積極的に導入

最新の工作機械を積極的に導入

積極的に投資

現在の社長の祖父が創業し、法人化後40年の歴史を刻んできた。プラント関係や自動車、半導体などの装置部品を中心に金属加工を手がける。大きさ数メートル四方の大型装置部品を得意とする。

大物部品の加工を行うにはこれに対応する工作機械が必要だが、「設備投資はためらわない」(宮地社長)と、最新のマシニングセンタ(MC)を積極的に導入している。

一貫体制

原則として、製図から工具の選定、製作、検査までを一人の担当者が手がける。生産効率を追求した末にたどり着いた手法で、「工程の無駄を見直し、短納期化につなげたい」(同)と意気込む。



経営者から
ひとこと
代表取締役
宮地 竜平さん

人材育成を進め、ロボットやAI(人工知能)とは対極にある職人を育てていきます。月1回は勉強会を開催しており、技術の底上げを目指しています。

●主な設備

五面加工門型マシニングセンタ、
立型マシニングセンタ、
NC旋盤

●主な取引先

(株)三井E&Sマシナリー、三造加工(株)、
タカキ製作所(株)、(株)デンケン

18 “溶接日本一”の技能で 地域に貢献

有限会社山順工業

独自の技術



鉄と銅、ステンレスと銅など異種金属の溶接を得意とする。金属によって溶融点が違うため経験と技能が必要だ。「あらゆる溶接をやってきた蓄積がある」と山下社長。

自社の強み



大分県立工科短期大学の客員教授を務めるなど多忙な毎日過ごす山下社長だが、「納期を守ることが一番大切」と強調する。早朝、深夜の作業もいとわぬ姿勢で、顧客からの信頼を集める。

今後の展望



山下社長が県内各地の学校や企業で出張指導してきた若手人材が成長している。これらの技能者と仕事を分担する「協力企業のネットワークを形成したい」と思い描く。



製鉄工程の重要部品を匠の技が支える

地域を代表する技能者として

若手育成

山下社長は34歳の時に溶接技術を競う大会で日本一の栄冠に輝いた実績を持つ。その後、現代の名工に選ばれるなど、地域を代表する溶接技術者として活躍してきた。

近年では全国に先駆けて高校生の溶接技能大会の創設に携わるなど、人材育成の面でも地域をけん引する。

重要部品を加工

新日鐵住金(株)大分製鐵所とは十数年に渡って直接取引を行っている。製品分析工程のくみ取り治具や1,500℃の溶融鉄が流れる円筒管などの溶接を手がける。いずれも製鉄工程の重要部品であり、同社の技術に対する信頼がうかがえる。



経営者から
ひとこと
代表取締役
山下 順一さん

いろいろな賞を頂いてきましたが、その分地域へお返しをしなければと思って活動してきました。私の持っている技術を少しでも伝えていければと思います。

●主な設備

シャーリング、ノコ盤、
溶接機(被覆アーク、半自動、TIG)

●主な取引先

新日鐵住金(株)、(株)太豊テクノス

有限会社山順工業

TEL 097-567-6401
MAIL yamajun@coda.ocn.ne.jp
住所 大分市大字下郡3207-7
URL -
設立 1988年
資本金 300万円
従業員 3人

金属加工

19 フィールドは空から水上へ。各種ドローンを開発

イームズ ジャパン
EAMS JAPAN 株式会社

独自の技術



ボートタイプのドローンはボートのスピードに合わせてポンプで農薬を散布する。一反（約1,000平方メートル）の水田であれば1分ほどで散布が終了する。

自社の強み



同社が志向するのは「安全で簡単に使えるドローン」(溝部社長)。ドローンスクールも開校しており、農林水産航空協会指定の農業散布ドローン公認スクールとなっている。

今後の展望



「上（空）を向いていても市場は限られている」と言う溝部社長。現在は陸上ドローンの研究開発も進めている。

イームズ ジャパン
EAMS JAPAN 株式会社

TEL 097-523-1515

MAIL eams.japan@oct-net.ne.jp

住所 大分市大在北3丁目1-32

URL https://www.eams-jp.com/

設立 2016年

資本金 1,000万円

従業員 4人



(上) 水質調査艇、(下) 水産業用ドローン

農林水産業向けドローンに強み

農林水産省認定

農薬散布などの農林水産業向けを中心に、各種ドローンを製造する。創業者でもある溝部社長は、「市販のパーツを組み合わせて最初のドローンを作った」という。

転機となったのが国内で初めて農林水産省の認定を得た農業散布用ドローンだ。今後発売予定の最新モデルは燃費が向上し、飛行時間が従来機の倍になった。

安全、簡単に

現在は水上タイプの市場に力を入れる。最新のボートタイプのモデルは粒状と液状の農薬を両方散布することが可能だ。操作に免許は不要。農家自身が操作する必要があるため「安全で簡単に使えるドローン」(溝部社長)を目指してさらなる開発を進めている。



経営者からひとこと

代表取締役
溝部 弘之さん

一次産業の中でも農林水産業分野におけるドローンビジネスへの期待度は高いものがあります。チャンスを逃さないよう空ばかり見ているのではなく、地上にももっと目を向けるべきだと考えます。

●主な設備

●主な取引先

株式会社丸山製作所、(株)エンルート、全国の官公庁

20 半導体事業で培った高度な加工技術を軸に、事業領域を拡大

株式会社石井工作研究所

独自の技術



精密金型で培った高度な加工技術が同社のもづくりを支えている。自動車業界へ進出する際には、半導体装置関連の細かな部品の取り扱いの技術で転用できる部分もあったという。

自社の強み



最新の5軸複合加工機をはじめ、120台以上の加工機械を保有している。設計から加工、組立、調整、納品まで一貫して行っており、さまざまな顧客のニーズに対応できる。

今後の展望



グループ企業のモバイルクリエイイト(株)との連携により、IoT分野への進出が期待される。デジタルサイネージ、人工知能(AI)の活用、搬送ロボットなど各分野への挑戦を視野に入れている。



技術の高度化を進める製造現場

自動車業界向けも事業の柱に成長

新分野への取組

半導体や自動車関連を中心に各種自動機的设计、製造に携わる。従来から同社の代名詞だった半導体分野では製造の後工程向けに、切断装置や成型装置、レーザーマーク装置のほか、精密金型を供給している。

現在では売り上げの柱に成長した自動車業界向けには、コネクタ成形装置や抵抗溶接装置、レーザー溶接装置などを供給する。また医療関連や製函装置、包装装置など新たな分野の開発にも取り組んでいる。

連携強化

グループ企業で、ソフトウェアや情報通信に強みをもつモバイルクリエイイト(株)と、ハードに強い同社との連携により、新たな事業領域の広がりが期待される。



働く人の声

経営企画室主任
松本 公司さん

当社はまじめで責任感が強い社員が多いと思います。自動車業界向けは難しい仕事が多いのですが、最後まで責任を持って供給することが評価されています。

●主な設備

マシニングセンタ、ワイヤカット放電加工機、5軸複合加工機

●主な取引先

(株)デンソー、ルネサスエレクトロニクス(株)、日立オートモティブシステムズ(株)

株式会社石井工作研究所

TEL 097-544-1001

MAIL yada@i-kk.co.jp

住所 大分市東大道2丁目5番60号

URL http://www.i-kk.co.jp/

設立 1979年

資本金 3億円

従業員 278人

21 自動車関連部品から食品関係の生産ラインまで 現場での対応力に自信

有限会社エービー精工

独自の技術



多種多様な製造現場でラインの構築に携わった経験から「打ち合わせの場で、できること、できないことはすぐに判断」(安部社長)。「現場での対応力」に自信を見せる。

自社の強み



「変な物をたくさん作ってきた」と笑う、安部社長。かつては自動車耐久レースの部品製作に携わったことも。顧客の要望に柔軟に対応する姿勢を大切にしている。

今後の展望



各企業において、人手不足が深刻さを増すなか、同社は自動機の開発を進めており、「労働力不足の解消に貢献できれば」(安部社長)と意気込む。

有限会社エービー精工

TEL 097-521-8899
MAIL a_b_seikou.521-8899@road.ocn.ne.jp
住所 大分市青崎2-5-28
URL -
設立 1988年11月
資本金 500万円
従業員 4人



3DCADも活用する製造現場

少量多品種の部品を一貫生産

3次元CAD活用

IC製造関連の精密機械部品の製造を皮切りに事業を開始。現在では少量多品種の部品製作を設計から組み立て、試運転までを一貫で手がける。

会社規模は小さいながらも、各種工作機械をそろえており、機械加工や薄物板金加工、溶接まで社内で行う。3次元CADも導入しており、顧客からの提供データがあれば迅速なものづくりにも対応できる。

その場で対応

自動車関連やバイオ処理槽があるトイレのユニット、食品関係の生産ラインなど、納入実績も多彩。その経験が「何か問題があってもその場で修正、追加し、何とかする」(安部社長)という自信の裏付けとなっている。



経営者から
ひとこと
代表取締役
安部 勝さん

“機械いじりが好き”というのが私の仕事の原点です。当社は黒子に専念して、取引先の生産力の向上に貢献していきたいと思っています。

●主な設備

マシニングセンタ、TIG溶接機、シャーリング

●主な取引先

(株)ミカサ、(株)大分県畜産公社、(株)エム・アンド・イー

22 国内で高シェア誇る半導体の検査装置。 海外市場の拡大を目指す

エスティケイテクノロジー株式会社

独自の技術



「バーンイン装置」はICに電圧や温度の負荷をかけることで初期的な不良を発生させ、これに耐性を持たない不良品を除外するテストを行う。国内で高いシェアを有している。

自社の強み



テスト装置、テスト事業、メカトロ技術、システム開発といった一連の事業が相互に関連している部分が多い。顧客からの要望に対して自社内で技術を融合して対応できることが強みとなっている。

今後の展望



将来的には車載や人工知能などの分野で半導体需要が大きく増えるとみる。国内だけでなく、海外の拡販を視野に入れており、台湾にある合弁会社のほか、中国、東南アジア各地の市場拡大を目指す。



技術と最新設備によるトータルソリューションを提供

半導体事業を軸に、付随する事業も拡大

開発から設計、製造まで

半導体分野を中心に、メカトロニクス、情報システム開発などの事業に携わる。半導体関連では半導体製造装置や応用装置の開発、設計、製造を、さらに半導体の性能を検査するテストハウス事業も行う。

バーンイン装置

半導体検査装置部門では、「バーンイン装置」が同社の主力製品として位置づけられるほか、これに付随したハンドラーやネットワークシステムなどの取り扱いも数多い。またテストハウス部門には、これらバーンイン装置と最新のテスターをラインナップする。

メカトロニクス部門においては、溶接から板金、機械加工など幅広い分野の設備と関連技術を有する。



働く人の声
企画管理本部
企画管理部長
権藤 孝夫さん

自社の技術を磨き、お客さまに必要とされる存在でありたいと考えています。顧客のニーズを逃さずに、その一歩先を行くことが大きなテーマです。

●主な設備

テスター、ファイバーレーザー複合機、CO₂レーザー複合機

●主な取引先

東京エレクトロン九州株関連、(株)東芝関連、(株)安川電機関連

エスティケイテクノロジー株式会社

TEL 097-527-2161
MAIL info@stk-net.co.jp
住所 大分市三佐2468番地10
URL http://www.stk-net.co.jp
設立 1975年
資本金 1億円
従業員 500人

機械器具製造

23 紫外線殺菌照射装置を開発。 環境衛生のスペシャリスト集団をめざす

エネフォレスト株式会社

独自の技術



顧客の希望場所で設置前と設置後の検体採取を行い、機器の効果を検証する。現在までに約400件の浮遊菌データを積み重ねており、最大の効果を発揮できる設置方法を提案できる。

自社の強み



機器の販売の前段階から、環境衛生のコンサルタントとして顧客に携わることを志向している。「将来的には環境衛生のスペシャリスト集団をめざしたい」（木原社長）という。

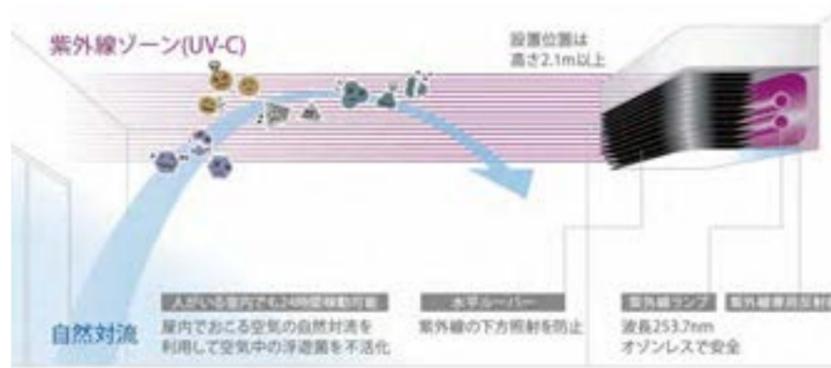
今後の展望



「人が集まる場所全てが市場」という木原社長。複数の企業とタイアップを模索しており、すでに鉄道会社との実証実験なども実施中だ。ソフト面から空気環境対策の重要性を訴えていきたいと考えている。

エネフォレスト株式会社

TEL 097-588-8120
MAIL fujisawa@eneofrest.co.jp
住所 大分市大字木上394番地の12
URL www.eneofrest.co.jp
設立 2006年
資本金 1,000万円
従業員 3人



エアロシールドの照射イメージ

公共交通機関での採用にも期待

常に空気殺菌

空気環境リスクの軽減を目的とする自社開発の殺菌装置「エアロシールド」の開発、販売を行う。最も殺菌力が強いと言われるUVCのランプを採用、2.1メートル以上の室内の天井付近に設置し、天井面に紫外線を水平に照射させることで、居室空間でも24時間使用可能となっている。

同社の本製品開発は、予防医学へ貢献するとともに、ヘルスケア産業の自律的な発展に寄与する取組として、九州ヘルスケア産業推進協議会の「第3回ヘルスケア産業づくり貢献大賞」において『大賞』を受賞した。

車載型も開発

介護施設や病院、薬局、幼稚園、保育所（大分市公立保育所13箇所）などで普及が進んでいる。また、車載型としては救急車両などへの搭載も進んでおり、今後は介護タクシーや電車、バスなどの公共交通機関での採用も検討されているという。



経営者からひとこと
代表取締役
木原 寿彦さん

空気環境を改善することで国の医療費の大幅な削減にも貢献できると考えています。大切な人が心身ともに健康に暮らす会社をつくるのが目標です。

●主な設備

●主な取引先

(株)アトル、(株)EMシステムズ、(株)サニクリーン九州、セールス・オンデマンド(株)、株白青舎、(株)日立システムズ、(株)富士通エフサス など

24 オリジナル機種の開発とスクール開催で 地域のドローン普及を後押し

シーアイロボティクス
ciRobotics 株式会社

独自の技術



山間地などで物を運ぶドローンの活躍が期待されている。同社では最大で搭載重量15キログラムのドローンを製品化。18年3月には大分県佐伯市でドローンを使った物流実験にも参加した。

自社の強み



半導体製造装置メーカーの(株)石井工作研究所、通信機器に強みを持つモバイルクリエイティブなどのグループ会社がある。ハード、ソフト両面で連携を組むことが可能だ。

今後の展望



物を運ぶドローンでは積載重量20キログラム以上の機体の開発を目指す。携帯通信を使った通信網を活用し、これを飛ばすドローンの実現にも意欲を見せる。



大分県産業科学技術センターと共同開発した「ドローンアナライザー」

ロボット分野の活躍にも期待

ニーズに対応

自社製オリジナルドローンの設計、開発のほか、中国・DJI社製ドローンの販売、ドローンスクールの運営などを行っている。

顧客ニーズに沿った開発を得意とし、レーザー測定器を搭載して飛行する測量用ドローンの注文が増えているほか、水上で除草剤を散布する農業向けドローンなどでも多くの実績がある。また、現在は大分県産業科学技術センターと共同でさまざまなドローンの飛行能力を計測するための「ドローンアナライザー」の開発も行っている。

認定スクール開催

スクールはドローン購入者向けのもの、月1回開催する「JUIDA認定スクール」がある。ドローンの操作に免許は不要だが、スクールを受講すれば、受講証明書が得られる。

2018年9月に現在の社名に変更、今後は自動搬送ロボットや追従ロボットといった各種ロボット分野への取組にも力を入れる。



働く人の声
技術部
北出 大成さん

ドローンの累計販売台数は九州でもトップクラスです。販売することも大事ですが、正しく使って頂くためのスクールの開催に力を入れています。

●主な設備

●主な取引先

(株)古城、大豊産業(株)

シーアイロボティクス ciRobotics 株式会社

TEL 097-585-5630
MAIL d-kitade@cidrone.jp
住所 大分市賀来北2丁目20番8号
URL https://www.cidrone.jp/
設立 2015年
資本金 4,500万円
従業員 4人

25 機械、電気の技術を基盤に、 各種機械装置を開発

シェルエレクトロニクス株式会社

独自の技術



プリント基板事業をはじめとして複数の事業を手がけた実績があり、技術の組み合わせで新たな市場を開拓してきた。自社製品として半導体業界向けのプローブピン挿抜装置があり、主に台湾向けに供給している。

自社の強み



機械、電気技術を有していることで、幅広い分野の機械装置の受託開発が可能。完成した製品のアフターサービスにおいても「できる限りこたえていく」(森竹社長)という姿勢を貫く。

今後の展望



「毎年何か一つは開発をしていきたい」という森竹社長。医療関係のほか、ドローン向けの障害物検知技術や、IoT分野での装置稼働率収集システムなどに取り組んでいる。

シェルエレクトロニクス株式会社

TEL 097-528-8826
MAIL moritake@shell-ele.com
住所 大分市青崎1丁目12番18号
URL http://www.shell-ele.com/
設立 1990年
資本金 1,300万円
従業員 32人



プリント基板組立を皮切りに各種事業へ展開

既存技術の応用で事業領域を拡大

半導体から自動車へ

半導体業界向けのプリント基板の設計、実装を皮切りに、半導体製造装置の設計、製造に携わってきた。

その後、培ってきた技術を応用し、自動車関連事業にも参入。1次部品メーカー向けに部品の洗浄機や搬送設備などを提供している。

医療関連にも進出

さらに既存技術を活用し、医療関連の開発も進めている。このほど開発したのが脊椎損傷者向けの排せつ支援装置だ。カメラと照明を備えており、場所を選ばずに利用できるのが特徴。2018年9月に販売開始。「普及を第一目標に、企業努力していく」(森竹社長)と意気込む。



経営者から
ひとこと
代表取締役
森竹 隆広さん

医療分野へ参入していますが、私たちだけでは難しい技術も多くあります。産学官の連携なども通じて幅広い技術を習得しようとしています。

●主な設備

チップマウンター装置、リフロー装置

●主な取引先

東芝デバイス&ストレージ(株)、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)、(株)ジャパンセミコンダクター

26 製鉄、IT、自動車に加え航空機業界 にも進出。大物加工に強み

菅原工業株式会社

独自の技術



製鉄所で使われる同社の製品は「最終工程で使われる物が多く、精度が要求される」(安部修一総務・経理部次長)。「海外勢にはできないものづくり」(同)を志向し、顧客の信頼を勝ち得ている。

自社の強み



安部次長は「困ったときの菅原頼み」と言われるのはうれしい」と、笑顔を見せる。飛び込みの注文にも積極的に対応できるように、日頃から各部門が協力体制を取っている。

今後の展望



航空機関連のほか、先端分野の高精度部品の取り扱いを増やすべく技術を磨く。近年ではステンレス製の大型真空チャンバー、シンクロトロン加速器の電磁石部品などの取り扱い実績を増やしている。



大物加工に対応する大型五面加工機

自動車の技術武器に、航空機用部品も手がける

一貫生産

製鉄機械をはじめとする各種産業用機械、情報技術産業向け生産設備、自動車産業向け金型など、幅広い分野向けに設計、製作、メンテナンスまでを一貫して行っている。近年では自動車部品用の金型設計で培った精密加工技術と品質管理体制を生かし、航空機産業にも進出。小型ジェット機向けの降着装置部品の製作を手がけている。

充実の加工設備

大物の加工を得意としており、これに対応した加工設備を取りそろえている。五面加工機の加工物を置くステージは11.5メートル×4.6メートルの大きさ。最大60トンの能力を持つクレーンや、大型の三次元測定機を保有している。



働く人の声
製造部機械工場
藤本 将人さん

大型の機械を数多く取りそろえて、幅広い加工に対応しています。お客様の突発要求にも対応できるように、職場での連携を密にしています。

●主な設備

大型五面加工機、中ぐり盤、マシニングセンタ、旋盤、溶接機、三次元測定機、クレーン設備(60t)、焼鈍炉

●主な取引先

新日鐵住金(株)、新日鐵住金エンジニアリング(株)、三菱重工業(株)、スチールプランテック(株)、川崎重工業(株)、(株)神戸鉄鋼所、豊田通商(株)、住友精密工業(株)、住友商事マシネックス(株)

菅原工業株式会社

TEL 097-556-5666
MAIL sugahar2@mb.infoweb.ne.jp
住所 大分市乙津港町1丁目5番35号
URL http://www.sugahara-k.co.jp
設立 1949年
資本金 8,000万円
従業員 124人

27 ターボ機械を開発・設計。 航空宇宙分野開拓へも意欲

株式会社ターボブレード

独自の技術



3次元 CAD を駆使した設計のみならず、流体解析や強度解析なども行う。基本設計で想定したエネルギーが実現できているかどうか明らかになり、顧客からの信頼獲得にもつながっている。

自社の強み



水力タービンを皮切りに膨大な数の設計を手がけてきた。その経験が礎となっており、ほぼ毎日更新される林社長の個人ブログにはこれまでの設計開発の実績が記録されている。

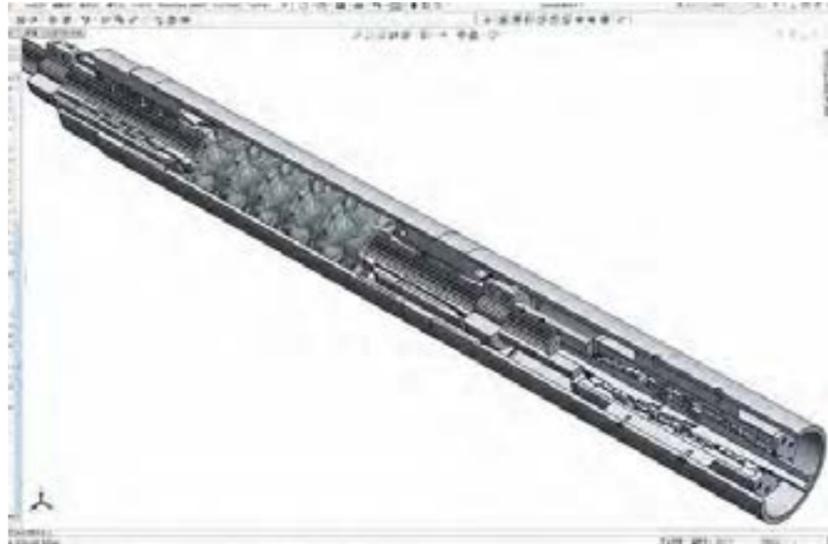
今後の展望



宇宙ロケットの開発を手がけるインターステラテクノロジズ社から依頼を受け、人工衛星打ち上げ用ロケットの設計を受託した。これをきっかけに航空宇宙分野の需要開拓も目指している。

株式会社ターボブレード

TEL 097-574-6071
MAIL info@turboblade.jp
住所 大分市小野鶴183番地2
URL www.turboblade.jp
設立 1999年2月
資本金 300万円
従業員 5人



ターボドリルの設計画面

大手企業や国とも取引

国家プロジェクト

回転羽を介して、水や気体などの流体と機械との間で連続的にエネルギーを変換する流体機械（ターボ機械）の開発設計を手がける。産業向けのタービンやポンプ、ファンなどがその代表例だ。

大手企業や国の機関との取引実績も多い。国家プロジェクトとして進められている国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）のマントル掘採計画では、地球の中心部へと掘り進むためのターボドリルの開発から実機の製作までを担う。

枠を超えて

大分県内では温泉の低温の熱水蒸気を利用した地熱発電（湯けむり発電）の事業化にも貢献。同社の技術は地域や業界の枠を超えて活用されている。



経営者から
ひとこと
代表取締役
林 正基さん

“難しい物もここならできそうだな”と感じてもらえる会社でありたいと思っています。既存の分野以外でも、お客さまの困りごとを解決していきます。

●主な設備

3次元 CAD、構造解析ソフト、流体解析ソフト

●主な取引先

アイシン精機(株)、(株)神戸製鋼所、トヨタ自動車(株)、富士電機システムズ(株)、(株)本田技術研究所、インターステラテクノロジズ(株)

28 顧客ニーズに柔軟対応。 熟練工の技術が下支え

タカキ製作所株式会社

独自の技術



リーマンショックの際に設備投資が遅れたが、それを補ったのが熟練工だった。現在も60歳を超えて働く人が10人以上おり、設備の改良や若手社員への技術の継承で貢献している。

自社の強み



設計から金属加工、組立まで自社で行うため、製造過程で不具合が見つかった場合や急な仕様変更にもスムーズに対応できる。短納期の要望にも対応することで、顧客の信頼も高めてきた。

今後の展望



自社商品の開発を目指して数年前から社員によるアイデアコンテストを実施している。災害時に利用する「土砂をかき出すためのスコップ」など、個性的な商品が生み出されている。



脈々と伝承される匠の技

ニーズに沿ったものづくりを展開

一貫生産

外観検査装置やICのパッキング装置などの半導体製造設備を中心に、各種産業用機器の設計、製作を事業とする。設計から加工、組み立てまで自社内で一貫した生産を行うのが特色だ。

エンドユーザーの要望を取り入れ、ニーズに沿ったものづくりを展開し、精密板金加工や部品製造、精密機器の修理なども手がける。

50年使える

創業当初の主力事業はリヤカーの製造で、現在も年間数台の取り扱いがある。長年のユーザーからは「50年は使えるという評価」も。生産量は少ないが、同社の高い技術力を裏付ける製品だ。



働く人の声
製造部長
生駒 憲一さん

装置に関しては、企画・設計・製作・セットアップ、そしてアフターケアまでの一貫体制にて対応できます。金属加工に関しては、多品種少量のものから、量産品までお客さまのニーズにお応えします。

●主な設備

NCフライス旋盤、NCタレットパンチプレス、三次元測定器、マシニングセンタ、ワイヤー加工機、3D CAD

●主な取引先

国内外半導体製造メーカー、自動車関連メーカー

タカキ製作所株式会社

TEL 097-569-3115
MAIL info3@takaki.co.jp
住所 大分市下郡3113-7
URL http://www.takaki.co.jp
設立 1962年
資本金 2,000万円
従業員 110人

29 電気設計技術を基礎に、 多様な事業展開

株式会社ブライテック

独自の技術



磁気特性測定装置は2019年3月までに開発が一段落。完成後は装置としての販売や委託測定を請け負うほか、「モーター製造工程のインライン検査装置として組込をめざしたい」と植木社長。

自社の強み



制御盤事業で社内一貫生産ができるのは他社にない強みとなっている。月単位で担当職務を変えるなど、社員の多能工化も計画的に進めている。

今後の展望



違う分野を得意とする他企業との連携を模索する。自社が得意とする弱電分野と他社の強電分野の組み合わせや、機械メーカーとの連携などで事業領域の拡大を目指す。

株式会社ブライテック

TEL 097-558-1125
MAIL btec1@btec-net.co.jp
住所 大分市大字海原739番地3
URL http://www.btec-net.co.jp/
設立 1997年12月
資本金 3,300万円
従業員 120人



社内一貫体制で制御盤を製造する

磁気特性測定装置に高まる期待

製造から据え付けまで

電気設計の技術を軸とし、業界に縛られない多彩な事業を展開している。主事業の一つである制御盤にかかわるシステム事業は、半導体や自動車などを対象に設計から製造、据え付けまで一貫して自社で手がける。

制御盤のほか、住宅メーカーからの依頼で住宅内の電気設計を行い、図面を納品する「RC事業」や、新幹線や在来線などの電気配線を行う「車両事業」も柱。ハーネス加工や基板の実装など、既存の領域にとどまらず、市場開拓に意欲的だ。

産学官連携で

近年では産学官共同で磁気特性測定装置の開発に取り組んでいる。ハイブリッド車などで使われるモーターの性能を引き上げるための活用に期待が高まる。



経営者から
ひとこと
代表取締役
植木 清文さん

技術開発に継続して取り組んでいます。次の成長のためには、他企業とも連携して“ものづくりだけの会社”から脱却することも必要だと考えています。

●主な設備

簡易クリーンルーム、ホイス（2t）、精密半田用顕微鏡

●主な取引先

西日本電線(株)グループ、(株)日立製作所、(株)日本マイクロニクス

30 開発から量産までをカバーする 半導体の総合カンパニー

大分デバイステクノロジー株式会社

独自の技術



大手電機メーカーの協力工場として培ったノウハウを基盤に、試作や受託開発の実績を重ねてきた。多彩な案件を受ける中で高い技術力で応え続け、パワー半導体分野へ進出する足がかりとなった。

自社の強み



経営理念にある「品質最優先」を実践するため「STEP点検」や「気づき提案」などを展開。日々の継続的な取組によって、品質に関する顧客からのクレームは8年以上ゼロを続けている。

今後の展望



「技術開発型企業」を掲げ、変動が大きい半導体業界で規模にとらわれず品質や技術の探求を続ける。「半導体を作る」ではなく「生活を作る」をコンセプトに、企業として存在価値を高めていく。



「品質最優先」を実践する製造現場

社員の主体性で技術開発力を高める

パワーデバイス事業を強化中

電化製品から通信機器、自動車などあらゆる製品の心臓部となる半導体。「後工程」と呼ぶ量産での組み立てのほか、大手メーカーや研究機関からの試作や受託開発などを手がけている。2013年に電気自動車(EV)や産業機器などの電力制御をつかさどるパワーデバイスの開発・製造に進出。15年には小口径の半導体ウエハーに回路を形成する前工程の製造受託をはじめると、次々と新たな取組を展開している。

労働環境を整備

「社員が主役」の考えで労働環境の充実に注力し、16年には厚生労働省の「ユースエール認定制度」に大分県内の企業で初めて認定を受けた。また、17年には、地域の経済成長を力強く牽引する事業を積極的に展開することが期待される企業として、経済産業省より「地域未来牽引企業」に選定された。



働く人の声
開発技術部
生嶋 修さん

幅広い世代の人々がバランスよく居るアットホームな職場です。モノへの興味や探究心を持った人が活躍しています。

●主な設備

半導体後工程製造装置、各種信頼性試験装置

●主な取引先

大手電機メーカー、自動車部品メーカー、各研究開発機関、大学等

大分デバイステクノロジー株式会社

TEL 097-588-1153
MAIL kazuya-miyazaki@odt.co.jp
住所 大分市大字野津原1660番地
URL https://www.odt.co.jp
設立 1970年7月
資本金 2,400万円
従業員 139人

31 国産針葉樹を使った内装材を製造。海外市場にも意欲

池見林産工業株式会社

独自の技術



木の本来の良さを生かすために高度な乾燥技術を確立しており、施工後の狂いが少ないという評価を受けている。時には数カ月をわたって自然乾燥や天日干しを行い、木を落ち着かせる。

自社の強み



「死節」と呼ばれる針葉樹独特の節穴ができた板を、再生する技術を有する。一般的には捨てられてしまう小さな木の枝を「埋木コマ」として活用。使いやすい平らな板にすることができる。

今後の展望



「国産材を海外へ最初に持ち出した」(久津輪社長)という同社。針葉樹の動きは海外でも高く評価されているという。駐在員を置いている韓国のほか、中国の富裕層向けにも売り込みを続けている。

池見林産工業株式会社

TEL 097-592-2122

MAIL kutsuwa@ikemi.co.jp

住所 大分市坂ノ市中央1丁目3番48号

URL http://www.ikemi.co.jp/

設立 1962年

資本金 3,000万円

従業員 120人



国産針葉樹を使ったフローリングや壁板

一枚物にこだわり

国内最大規模

国産のヒノキやスギ、マツなどの針葉樹を使った内外装建材メーカー。月間の生産量は国内最大規模の1万5000坪に達する。ベニヤなどを組み合わせた複合材ではなく、一枚物でフローリングや壁板を作ることができる。

機能性を向上

「一枚板は生き物」(久津輪社長)というように、抗菌作用や吸湿作用など、木の本来の働きがより発揮されるというメリットがある。

植物性自然塗料を塗り込んだ製品など、さらに機能性を高めた商品の開発にも取り組む。国産針葉樹を使ったものづくりという軸はぶれることなく、利用者の生活環境の向上に力を注いでいる。



経営者からひとこと

代表取締役社長
久津輪 光一さん

全国の自治体、事業者と手を組んで、地域の地産材をいただきながら、高付加価値品をお届けしています。日本の誇る資源を大切にしていきます。

●主な設備

高速モルダライン、木材乾燥機、UVセラミック塗装ライン

●主な取引先

ナイス(株)、越智産業(株)

32 オーダーメイドの家具・建具づくりで高い技術力を発揮

有限会社高橋木工製作所

独自の技術



独自造形のテーブル台を手がけて意匠登録するほど、アイデアを体現できる技術力を持つ。他にも高齢者向けの入浴補助座具を開発するなど、既存事業と並行して新たな取組を仕掛けている。

自社の強み



現場の職人たちは10年以上の経験を積み、1級家具製作技能士の資格を持つベテランぞろい。確かな技術力と小回りの利く体制が、幅広い受注に応える原動力となっている。

今後の展望



社内の技術力を発信する機会として今後はこれまで縁がなかった展示会への出展を重ねていく意向だ。他業種との新たな出会いの中からの事業展開の広がりも期待をみせる。



1級家具製作技能士の資格を持つベテランがそろう製造現場

職人技と機械加工の融合による新たな可能性への挑戦

幅広い受注に対応

大分市で数少ない木材加工業者としてオーダーメイドの家具や建具を製造している。住宅や店舗、医療施設などさまざまな設置環境に合わせてイスやテーブル、収納建具など幅広い受注に対応できるのが特徴。地場工務店との長年の取引によって信頼関係を築いている。

最新機器を導入

職人の技術によって支えられてきた製造現場には2014年に3次元NCルーターマシンを導入。職人技と機械加工の融合によって顧客からのより複雑な要望に応えられるようになった。

近年はオリジナル家具の開発にも注力。長年培ってきた技術を生かした新たな可能性に挑んでいる。



経営者からひとこと

取締役社長
高橋 秀樹さん

木材加工では何でも応えられるのが自慢です。お客様の要望に応えながら自分たちの思いを体現するため「想像から創造へ」をモットーにしています。

●主な設備

3次元NCルーターマシン、パネルソー

●主な取引先

住友林業(株)、地場工務店

有限会社高橋木工製作所

TEL 097-522-3611

MAIL mokkou-ss@palette.plala.or.jp

住所 大分市大字三佐2267-1

URL http://www.mokkou-ss.com/

設立 1988年

資本金 300万円

従業員 3人

33 「横ぶり」がイベントで大好評。海外への情報発信にも意欲

有限会社イトダネーム

独自の技術



ミシンを使ってネームを入れる職人「横ぶり師」が各地の出張販売に向く。グッズ購入者にはその場でネームを入れる無料サービスを行っている。職人の技に見ている人たちからは歓声が上がります。

自社の強み



Tシャツのシルクプリントの工程では1時間で1人あたり100枚を製造できるという。刺しゅうも含めた「ものづくりの部門があることは会社の強み」と井戸田社長は胸を張る。

今後の展望



少子化に伴う市場縮小が予想される中で、販売拡大のため消費者に近い場所での営業展開を検討する。大分、福岡、東京以外の地域についても「支店の開設も含めて展開したい」と意欲を見せる。

有限会社イトダネーム

TEL 097-533-0153
MAIL info@itoda-m.co.jp
住所 大分市弁天1-4-33
URL http://www.itoda-m.co.jp
設立 1978年10月
資本金 300万円
従業員 68人



全国各地のイベントでオリジナルグッズを提供

最前線で活躍する営業部隊

足を運ぶ

社名の「ネーム」とは、ユニホームなどに名前やマークを入れる作業のこと。同社は自社工場で刺しゅうやプリントなどの方法で衣類やタオルに加工を施し、販売している。

同業種では珍しい営業部隊を有しており、大型店舗や官公庁へ積極的な営業展開を行っている。「足を運び、当社はここまでできるという提案をすると、お客さんにも安心してもらえる」と井戸田社長は言う。

イベントで出張販売

主な取引先はアパレル関係やスポーツ量販店など。全国各地のイベントでの出張販売も行っており、衣類のほか、缶バッジやアクリルキーホルダーなどのノベルティ販売も行う。



経営者からひとこと
代表取締役
井戸田 剛さん

ラグビー・ワールドカップや東京五輪などの大規模イベントが控えています。日本が誇る横ぶり職人の技術を、国内外に発信していきたいと考えています。

●主な設備

1頭式ミシン、多頭式ミシン、シルクプリント設備、UV印刷設備、昇華印刷設備

●主な取引先

スポーツ量販店、官公庁、衣類販売店、交通機関、商業施設、広告代理店

34 創業慶応2年。社内一貫生産で多様な要望に応える

株式会社太田旗店

独自の技術



サッカー会場などで見られる一辺が30メートルにおよぶビッグフラッグを製作することも。1メートル幅の布を染め上げ、それを縫い合わせるため、色の安定性と巧みな縫製技術が必要な仕事だ。

自社の強み



50人ほどの縫製スタッフがあり、他の事業者ではできないような短納期の仕事、大きな装飾物などを手がけることができる。また営業支店が、東京と福岡にあり、お客様に寄り添ったサポートをしている。

今後の展望



「幅広い人たちに当社の仕事を知ってほしい」という太田社長。5年ほど前に大分市内で雑貨を販売する「府内 笑心太(えこた)」をオープン。多くの方に自社の技術を知ってもらう機会になっている。



伝統的な染色方法で製作したはっぴ

各種染色技術を最適提案

オーダーメイド

創業から150年以上の歴史を重ねてきた老舗。染色、縫製技術を活かしたのぼりやはっぴ、旗、幕などの製造、販売を行う。既製品はなく、全て顧客ごとにオーダーメイドで提供する。

デザインや染色、縫製、仕上げは、それぞれ異なる会社で行うのが一般的。同社はこれを自社内で全て手がける。各部門での連携が取りやすく、短納期にも対応できる。

ノウハウ蓄積

染色の方法には刷毛染や手捺染(なっせん)、オート捺染、デジタル染色などがあるが、同社はこれら全てに対応できる技術を持つ。天気や湿度によって発色の仕方の変化にも対応し、目的に応じた最適な方法で商品を作り上げるノウハウを蓄積している。



働く人の声
主任
内匠 美和さん

自社工場があり、デザインから一貫して手がけることができるのが当社の強みです。のぼりや旗など1枚からお気軽にご相談下さい。

●主な設備

デジタル製版機、大型スクリーン捺染機、全自動色糊調色装置、各種インクジェッター、自動裁断機

●主な取引先

官公庁、学校、企画代理店、一般企業、日本相撲協会、各種団体等

株式会社太田旗店

TEL 097-532-5511
MAIL receive@ootaflag.co.jp
住所 大分市府内町1丁目2番33号
URL http://www.ootaflag.co.jp
設立 2015年11月※法人登記年月
資本金 3,000万円
従業員 130人

35 体外診断用医薬品の 研究開発で人命救う

株式会社キューメイ研究所

独自の技術



中小の医療機関や夜間診療においても、血栓の分解産物を簡易的に測定できるように県内企業と連携して開発した装置。動物用としても使用できる。

自社の強み



診断薬の原材料となる抗体を外注ではなく社内で製造している。多様な抗体を持ち特性を熟知しているため、優れた抗体同士を自由自在に配合可能。他社にはない製品開発に取り組んでいる。

今後の展望



16年に東日本営業所を設立し計4人が常駐。関東地域の営業強化や海外での販売展開を進める。製品開発にも積極的に取り組む姿勢で、乳幼児用に少量の血液から検査できる小型装置も開発中である。

株式会社キューメイ研究所

TEL 097-545-5051
MAIL medinfo@q-may.jp
住所 大分市大字古国府字永畑549番3
URL http://www.q-may.jp/
設立 1991年5月
資本金 1,300万円
従業員 25人



ファクターオートシリーズ製品群

抗体製造の基礎技術を生かし動物へ試薬範囲を応用

血栓症診断薬に強み

体外診断用医薬品の製造販売会社。中でも心筋梗塞や脳梗塞などの原因となる血栓症診断薬に強みを持つ。一般的な診断方法のCTスキャンやエコー検査はコストも時間も要する。同社の診断薬は、採取した血液を専用及び汎用自動分析装置でスクリーニング検査ができる。

医療ベンチャーは研究開発に特化する機会が多いが、同社は製造拠点を持つ。試薬の肝となる抗体を産生する細胞を多数培養できるため、顧客ニーズを反映しやすい環境が整っている。

海外の展示会へ出展

2017年からドイツやシンガポールなど海外の展示会に積極的に出展。来場者から上々の反応を得た。東南アジアなど海外での販売促進に期待する。



働く人の声
製造部開発課
リーダー
杉山 大輔さん

原料製造の基礎技術を背景に、特徴的な反応性を持つ新たな新規診断薬の開発を容易に実施できます。人命を救う製品創出と一緒に進めましょう。

●主な設備

自動分析装置、凍結乾燥機、細胞培養システム

●主な取引先

(株)アステム、正見(株)、その他試薬ディーラー、県内外医療機器メーカーほか

36 特許製品を活用。 バルコニーデッキの市場開拓目指す

株式会社サンライズ

独自の技術



傾斜対応の自社開発商品「傾斜対応プラスチック束」を代表に、鋼製束「ZIZAI」など独自商品を持つ。建材メーカーを通さないためコスト面でも競争力が高い。

自社の強み



鋼製束は住宅の床基礎部分工事の安定施工が可能。接着剤を使わず接地面をコンクリートビスで簡単に固定できる。大分県トライアル発注制度認定商品でもあり、採用拡大が期待される。

今後の展望



バルコニーデッキの設置を住宅のスタンダードとすることを目指す。そのため日本各地のハウスメーカーやビルダー、設計事務所を訪問。展示場に無償提供で設置することで認知度を高め販路拡大に努める。



バルコニーデッキを住宅のスタンダードに

健康住宅実現へ床下の安全を提案

プラスチック束で特許取得

2014年設立の建材メーカー。大分県内有数の新築住宅販売会社のグループ企業として、バルコニーデッキと建売販売を中心に展開する。床高や傾斜を自由に調整できる「傾斜対応プラスチック束」では国内特許を取得。累計販売実績は約3,000平方メートルにおよび、平らでない場所でも水平に施工できる。

セット提案

同商材を生かせる営業分野がバルコニーデッキ。劣化や腐食、ひび割れなど経年変化が少なく強度が高い高耐候樹脂デッキ材とセットで提案する。大手企業の3分の1程度の価格提案が強み。バルコニーを家の一部ととらえ、清潔感と使い勝手の追求によって市場開拓している。



経営者から
ひとこと
代表取締役社長
小坂 良伸さん

傾斜不陸対応鋼製束は大工の使い勝手を追求して完成しました。人と環境に優しく、揺れに強い特徴を併せ持ち健康住宅実現に貢献します。

●主な設備

●主な取引先

越智産業(株)、北恵(株)、水上金属(株)、原田木材(株)、清水(株)、ジャパン建材(株)、(株)レオハウス、(株)佐世保地所 他

株式会社サンライズ

TEL 097-521-0686
MAIL info@sunrise-ht.jp
住所 大分市大字南94番アンビシャス高田1-105
URL https://sunrise-ht.jp
設立 2014年7月
資本金 500万円
従業員 12人

37 70件の知的財産を有し、 機能を絞った商品開発に意欲

日本フィルム株式会社

独自の技術



安全グリップをはじめ、約70件の知的財産を有する。包装ごみを無くするための紙ラベル包装(再生率70%)や、その紙ラベルに企業広告を掲載するなど、省資源と経済性を両立するアイデアが独自性を際立たせる。

自社の強み



ごみ袋 1枚毎に生産履歴番号を印字し、更に製造工程を24時間10年間ビデオ録画するなど、生産履歴の記録を徹底している。不具合が生じたときの早期の原因究明と迅速な対応が可能だ。

今後の展望



生産ラインの更なる自動化・ロボット化を進めると同時に、新たな特許製品やシステムの開発に挑む。

日本フィルム株式会社

TEL 097-569-5121
MAIL nf-conte@nipponfilm.co.jp
住所 大分市下郡3007-7
URL http://www.nipponfilm.co.jp
設立 1972年
資本金 5,000万円
従業員 96人



ロール式安全グリップ付きごみ袋

安全グリップ付きごみ袋で飛躍

作業者に配慮

地方自治体指定のごみ袋や水切りポリ袋、エチケットパックなどの各種ポリエチレンフィルム製品の製造、販売に携わる。

袋本体下部に回収者用グリップを付けた「安全グリップ付きごみ袋」が事業の飛躍のきっかけとなった。

安全グリップを掴むことで、割れピン、竹串、ガラス等による作業員の怪我(労働災害)を防ぐことが出来る。

様々な工夫

本製品はその形状をロール式にし再生紙ラベルで留める簡易包装(包装ごみの減量化)となっているほか、視覚障害者用の触感識別ライン(凹凸加工)や偽造防止対策(生産履歴番号の印字)が施される等、様々な工夫がされている。

現在では約230の自治体の指定ごみ袋に採用されている。



経営者から
ひとこと
代表取締役
田北 一彦さん

人に「喜んでもらう」「安心してもらう」ことがモノづくりの原点。礼儀正しさや配慮を忘れずお客様のご要望に応えていきたい。

●主な設備

インフレーション成形機、
生産管理システム

●主な取引先

各地の地方自治体

38 高品質オフセットカラー印刷とPOD印刷の2つの手法 を駆使して小ロット・短納期サービスを提供

春日印刷有限公司

独自の技術



活版印刷機に使う亜鉛の版は、わざわざ県外の業者に製作してもらおうという。はがきや名刺などを印刷すると独特の風合いが生まれるため、全国から製作の依頼がある。

自社の強み



小ロット、冊子印刷を得意とする。デザイン提案から製本仕上げまで、顧客とは「一対一で向き合う」という伊藤社長。印刷の完成度も見据えて、特殊紙での印刷なども提案する。

今後の展望



PODを活用した商品開発に取り組んでおり、「ポケットブック」はその一つ。胸ポケットに入るサイズの無線とじ冊子で、企業ごとのオリジナル手帳などの製作で評価を高めている。



こだわりのドイツ・ハイデルベルグ社製印刷機

個性的な印刷サービスを提供

こだわりの設備

最新のデジタルカラー印刷を手がける一方で、A2サイズを同時に両面印刷する機械や、昔ながらの活版印刷機など、こだわりの印刷機械を保有しており、個性的な印刷サービスを提供する。小ロット、短納期要求に対応する「POD(プリント・オン・デマンド)印刷」サービスも行っている。

生らし

インターネットを使った印刷が本格化する以前の2007年に印刷の通販サイト「生らし」をスタート。「ちらしずし」に由来する名前の通り、「すぐにできて気軽に頼める」(伊藤社長)のがコンセプト。100枚から注文が可能で、1営業日で納品・発送する特急印刷にも対応している。



経営者から
ひとこと
代表取締役
伊藤 博雅さん

小さなポイントカード一つ作るのも、豊富な用紙・印刷方法・仕上がりがイメージ等をご提案し、もらった人に喜ばれるものづくりをモットーにしています。

●主な設備

B3サイズ4色印刷機、B4サイズ活版印刷機、
菊判サイズ(65×46cm)2色・同時両面印刷機、
ナンバーリング印刷機、断裁機、紙折り機

●主な取引先

大分県、大分市、県内企業、
医療関係団体、学校、
デザイン会社、デザイナー

春日印刷有限公司

TEL 097-534-1221
MAIL info@kasugaprinting.co.jp
住所 大分市勢家町3丁目4番23号
URL http://www.kasugaprinting.co.jp
設立 1963年2月
資本金 500万円
従業員 7人

39 特殊形状のパッケージ製作を 支える独自の技術

極東印刷紙工株式会社

独自の技術



特殊な形状の箱も、もともとは一枚の紙から形作られたもの。その基になるのが展開図だ。完成形をイメージしながら作成するには経験に基づくノウハウが必要で、同社の独自性を高めている。

自社の強み



パソコンで作製した設計図通りに厚紙を型抜きするサンプルカッターという機械を導入している。厚い紙に印刷できる設備なども充実しており、設備を持たない印刷会社からの依頼も多いという。

今後の展望



ビニール素材などの印刷ノウハウを吸収し、箱や小袋、手提げ袋までトータルで提案できる能力を磨いていきたいという。若い女性デザイナーが4人おり、高い感性で商品開発ができると期待する。

極東印刷紙工株式会社

TEL 097-543-3131
MAIL welcome@mail.kyokuto-p.jp
住所 大分市大字古国府146-3
URL http://www.kyokuto-p.jp/
設立 1951年
資本金 8,000万円
従業員 53人



さまざまな形状のパッケージを製作

新しいものへの興味が新商品を生む

提案営業で開拓

チラシやパンフレットなどの一般印刷も取り扱うが、ユニークな形状の袋やパッケージの製作を得意とする。ものづくりに思い入れが強かった先代の社長がデパートへ提案営業をし、特殊な形状のパッケージを作り始めたのがきっかけだという。

商品の源泉

笠木社長は「目新しいものや、変わったものがあれば買って来てね」と社員に呼びかけているという。風呂おけのような形で、中の仕切り板を取り出すと湯気のポップになるお菓子の箱（上掲写真左側）や、箱の中に観光ガイドが記載された土産物の箱など、新しいものへの興味がユニークな商品を生み出す源泉となっている。



経営者から
ひとこと
代表取締役社長
笠木 恵美子さん

生産者が一生懸命作ったものを、たくさん
の人の目に触れてもらいたいと思っています。
商品にお化粧をして発信するのが私たち
の仕事です。

●主な設備

印刷機、トムソン打ち抜き機、
サクマシオン機、試作機

●主な取引先

(株)トキハ、富士甚醤油(株)、
J:COM大分ケーブルテレコム(株)、
大分県、大分市

40 デジタル技術と職人の技の融合で、 ニーズに応じた多様な提案力を構築

佐伯印刷株式会社

独自の技術



設備面ではハイデルベルグ社の8色印刷機を地域でいち早く導入。ビジュアルが重視される美術本などはスキニング部門の社員が色の再現性を確認するなど、職人の技術も制作を支える。

自社の強み



DTPに携わる社員数は30人以上に及ぶ。一人の社員が複数の業務に従事する多能工化も進めており、社内一貫生産体制を確立し、生産性の向上に力を注ぐ。

今後の展望



右肩下がりが予測される印刷業界で、国際学会などの「MICE」に関連した事業は、インバウンドの増加もあって成長が期待される。「国際会議の抄録などでは当社のDTP技術が生きる」と(平岩社長)と期待する。



DTPグループ作業風景(クライアント・サーバシステムを基本とした分散作業により効率化を実現)

電子媒体も活用し、効果的な情報発信を実現

ワンストップサービス

従来の紙の印刷にとどまらず、ホームページやデジタルサイネージ、電子カタログ、動画制作なども手がけ、顧客ニーズに応じた効果的な情報発信を行う。企画・デザイン部門やデジタルコンテンツ部門を設けているほか、マーケティングを含む提案を行うソリューション室も有しており、印刷を軸にしたワンストップサービスを掲げている。

白書での実績

中央省庁の白書など「編集作業のスピード、正確さが求められる仕事」(平岩社長)でも長年実績を積み重ねてきた。校正・校閲体制の充実に加え、パソコンを用いて印刷物のデータ作成、デザインを行う「DTP(デスク・トップ・パブリッシング)技術」を駆使し、高品質と短納期を実現している。



経営者から
ひとこと
代表取締役社長
平岩 照正さん

ドローンを使った空撮やスマートフォンなどと連動したAR技術など、紙の印刷に付加価値を持たせる事業を展開していきます。

●主な設備

DTP編集機、オフセット8色印刷機、
オンデマンド印刷機、断裁機、
中綴機、無線綴機

●主な取引先

行政機関、民間企業、
各種団体

佐伯印刷株式会社

TEL 097-543-1211
MAIL info@saiki.co.jp
住所 大分市古国府1155-1
URL http://www.saiki.co.jp/
設立 1941年
資本金 2,000万円
従業員 110人

41 古き良き活版印刷で オリジナル商品を展開

株式会社高山活版社

独自の技術



活版印刷機は紙のセット位置や機械を動かすスピード、紙の特性に合わせて加圧など多くのノウハウが求められる。機械の性能を熟知した職人がお客の要望を忠実に具現する。

自社の強み



本社内に活版印刷の技術を理解してもらうための「高山活版室」を新設し、デザイナーやお客との創造の場を作った。活版印刷が評判を呼び、有名酒造会社のコースター作りの案件を受注するに至っている。

今後の展望



受注待ちのスタイルから脱却し、世界に一つだけの高品質かつ高付加価値のオリジナル商品作りを展開する。印刷会社の枠を越え、被災時に役立つ情報を防寒シートに印刷したオリジナル防災商品も販売している。

株式会社高山活版社

TEL 097-568-8227
MAIL eiichiro@printcom.co.jp
住所 大分市片島尻301番地の1
URL http://takayama-print.main.jp/
設立 1910年※創業年
資本金 1,000万円
従業員 12人



活版印刷機「プラテン」(ハイデルベルグ社)

高品質な印刷物を作れる印刷屋へ

モノクロの風合い

創業108年を迎えた老舗印刷会社。名刺や伝票、冊子といった事務用印刷物のほか、結婚披露宴の招待状など婚礼印刷物を中心に手がける。次世代の事業の柱を作るため5年前に復活させたのが活版印刷。古い機械による精密な印刷で、印刷部分がへこむことで立体感があるのが特徴。印刷できる用紙の種類も多く、モノクロな風合いは印象深くどこか懐かしい。

デザイナーとタッグ

小型の卓上式活版印刷機自体は市場に出回るが、製本までできる印刷所は全国でも限られる。デザイナーと組んで立ち上げたオリジナルステーションナリーブランド「TAKAYAMA LETTER PRESS」の商品を5県7店舗のセレクトショップで展開している。



経営者から
ひとこと
代表取締役社長
高山 英一郎さん

印刷物で困った際に頼りになる存在になりたいと思っています。印刷というベースを大切にしつつ、ものづくりで社会貢献していく所存です。

●主な設備

オフセット印刷機、活版印刷機、オンデマンド印刷機

●主な取引先

㈱トキハ、ジェイリース㈱、ヤクシングループ

42 「大分県生乳」を武器に市場拡大。 異業種連携にも意欲

有限会社古山乳業

独自の技術



4代目社長の古山信介氏は商品開発に力を入れてきた。果肉入りの乳酸菌飲料を作る場合にも、通常は業者に一任する果肉部分のレシピを自社で作成するほどのこだわりを持つ。

自社の強み



「大分県生乳」を使っているということが、商品の信頼度を高めている」と古山社長。「湯あがりのむヨーグルト」など、大分にちなんだ商品は県外の催しの場でも人気を集める商品だ。

今後の展望



自社商品「ヨーグルト&甘酒」は、福岡県の酒造会社と共同で開発した製品だ。古山社長は「食品の中でも、異分野同士で垣根を越えて手を組むことも必要」と意欲的だ。

有限会社古山乳業

TEL 097-575-0027
MAIL milk01@milk.co.jp
住所 大分市大字佐賀関750番地の8
URL http://www.milk.co.jp
設立 1971年
資本金 300万円
従業員 12人



大分県産の牛乳と果実を使った「おおいたフルーツめぐり」シリーズ

高付加価値の乳酸菌飲料に注力

学校給食

創業100年を超える同社は、牛乳、ヨーグルトなどの乳製品、乳酸菌飲料を製造する。売り上げの7割を占める牛乳は、地場百貨店・スーパー向けのプライベートブランド商品のほか、学校給食向けを製造。「大分っ子牛乳」として、大分市東部や臼杵市、津久見市の小中学校に1日約1万7,000本を供給している。

大分にこだわる

近年では付加価値の高い乳酸菌飲料の製品化に力を注ぐ。2018年9月に製品化したのが、大分県産の牛乳と果実を使った「フルーツめぐり」シリーズだ。国東のキウイ、湯布院のブルーベリー、大分のイチジクを使用。商業施設で行われる「大分フェア」などで好評を得ている。



経営者から
ひとこと
代表取締役
古山 信介さん

「大分県産」の商品は県外にも強いニーズがあります。これに応えるためにも、生産設備や生産効率を工夫し、一層の量産化を実現したいと思っています。

●主な設備

牛乳充填機、ヨーグルト充填機、牛乳殺菌設備

●主な取引先

大分県内の小中学校、㈱トキハインダストリー、九州乳業㈱

43 大分銘菓の代表格。 進化目指し、研究開発続く

株式会社ざびえる本舗

独自の技術



5年前に工場を増設した際に包餡(あん)機と焼成機を新たに導入した。衛生管理意識の高まりもあり、従来手作業で行っていた作業を機械で行うなど、菓子製造工程の機械化を進めている。

自社の強み



「50年以上大分の人に愛されてきたことが一番の強み」という太田社長。現在では地元のみならず、東京や関西の有力百貨店にも「ざびえる」が並んでおり、全国にファンがいる。

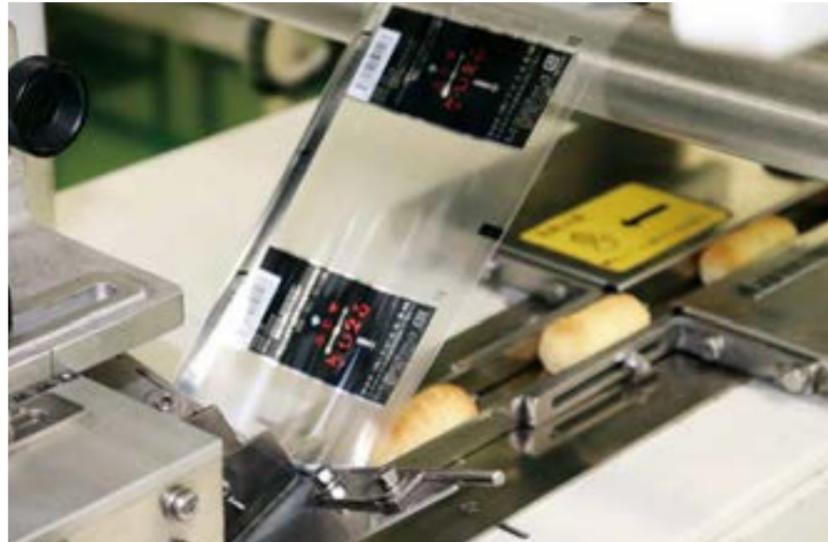
今後の展望



17年9月に商品開発室と品質管理部を新設した。「ざびえる」の更なる進化と、新たなお菓子の開発が新組織の目標だ。新たな焼き釜や、あん練り機を導入し、次なるお菓子作りに余念がない。

株式会社ざびえる本舗

TEL 097-524-2167
MAIL info@zabieru.com
住所 大分市大分流通団地1丁目3-11
URL http://www.zabieru.com
設立 2001年1月
資本金 1,000万円
従業員 78人



製造工程の機械化を進める、ざびえる本舗の本社工場

半世紀以上の歴史を刻む銘菓

和洋折衷

大分を代表するお菓子「南蛮菓ざびえる」はおよそ半世紀前に製品化された。ラム酒につけ込んだレーズンを刻み込んだあん、和風の白あんの2種があり、これをバター風味豊かな洋風の皮が包む「和洋折衷」の味わいが根強い人気を誇る。

生産引き継ぐ

2000年にざびえるを製造していた菓子メーカーが倒産し、2001年に設立されたざびえる本舗が製造を受け継いだ。

現在は「ざびえる」のほか、「瑠璃沙」「豊のたちばな」「月さらさ」の4種類を製造しているが、売り上げの6割をざびえるが占める。その生産量は1日に3万8,000個から4万個におよぶという。



経営者から
ひとこと
代表取締役
太田 清利さん

長年愛されているざびえるですが、もっとおいしくなると考えています。新たな付加価値を生むための技術を磨いていきます。

●主な設備

餡練り釜、生地練りミキサー、
焼成トンネル釜

●主な取引先

(株)トキハ、(株)トキハイナダストリー、
JR九州リテール(株)、大分航空ターミナル(株)

44 焙煎技術を軸に、 地域密着の製品を開発

株式会社シーアール

独自の技術



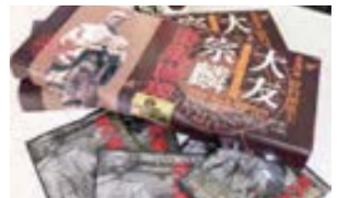
35年以上に及ぶ焙煎技術は顧客からの高い支持を受ける。世界各国からのコーヒー豆の特徴を捉え、顧客の要望に応じてブレンドするノウハウを蓄積してきた。

自社の強み



大分空港や水族館などの施設からの求めに応じてカフェの立ち上げに携わった実績がある。J.COM ホルトホール大分内の直営店舗は装飾品を集めるため、パチカン市国やポルトガルまで足を運んだという。

今後の展望



「独居老人が増えている。高齢者が気軽に集まる場所を作りたい」と岩坂義幸会長。カフェ事業のノウハウを活用し、社会貢献にもつながる取組に意欲を見せる。



郷土の英傑である戦国大名 大友宗麟をモチーフにした缶コーヒー『府内南蛮王』

大友宗麟をモチーフに

食品全般を取り扱う

世界各国から輸入したコーヒー豆を焙煎(ばいせん)し、飲食店やホテルに納入してきた。顧客の求めに応じてコーヒー以外の食料品も取り扱っており、現在では食品卸全般を事業とする。

また大分市のJ.COM ホルトホール大分(複合文化交流施設)などでカフェを営業しているほか、県内で約2,600台を有する自動販売機事業も手がける。

大吟醸珈琲

地域密着の商品開発にも積極的に取り組んできた。郷土の英傑である戦国大名 大友宗麟をモチーフにした『府内南蛮王』は、雑味がないすっきりとした味わい。『大吟醸珈琲』と称し、ドリップコーヒーや缶コーヒーとして製品化している。竹田市などでも「竹田南蛮珈琲(ミステリオ)」として製品化している。



働く人の声
取締役
経営企画部長
岩坂 敏さん

コーヒーの焙煎を皮切りに、食品全般を取り扱い、地域の中で成長してきました。イベントなどを通じて地域に貢献できる企業として活動していきます。

●主な設備

大型焙煎機、大型コーヒーミル、
プレハブ冷蔵庫

●主な取引先

大分県、各市町村、
大分航空ターミナル(株)、道の駅ほか

株式会社シーアール

TEL 097-569-8161
MAIL info1@crcoffee.jp
住所 大分市大字津守246番地の5
URL http://www.crcoffee.jp
設立 1982年3月
資本金 1,000万円
従業員 38人

45 ストーリー性のある商品開発で和菓子文化を発信

御菓子司 高橋水月堂

独自の技術



地域に根ざしたストーリー性のある商品開発が特徴。添加物をできるだけ使わず、原料には地元大分産の小麦や卵を使うなど素材にこだわりながら商品の魅力を発信している。

自社の強み



和菓子と洋菓子双方の良さを見極め、時代に合わせた商品を送り出してきた。京都で修行を積み、和菓子一級技能士の資格を持つ四代目当主を中心に、技術とアイデアを武器に伝統を築いている。

今後の展望



商品だけでなくパッケージや売り方にも大分らしさを取り込み、地域産業の振興の一翼を担う。地域における和菓子づくりの文化の発信者としての役割を果たしていく。

御菓子司 高橋水月堂

TEL 097-575-0161
MAIL sigetsu.t@tiara.ocn.ne.jp
住所 大分市大字佐賀関3332-2
URL http://www.suigetsu-do.com
設立 1906年
資本金 -
従業員 5人



全国ブランドである「関あじ・関さば」をモチーフにした最中（登録商標）

地域性を生かしたアイデア満載の商品づくり

オリジナルの商品群

1906年創業の老舗和菓子店。地元特産品を原材料に取り入れた商品づくりに定評がある。全国ブランドでもある地元佐賀関の「関あじ・関さば」をモチーフにした「関あじ・関さば最中」やカボスの甘露煮と白あんを練り上げた焼き菓子「豊後三百年の恋」など、オリジナリティーあふれる商品は各種品評会での受賞実績を持つ。

和菓子作りの楽しさ伝える

商品は市内の2店舗のほか駅や空港など県内各所で販売、土産物として親しまれている。近年は百貨店でのワークショップ開催や海外での文化交流事業参加など、和菓子作りの伝統や楽しさを国内外へ積極的に発信している。



経営者から
ひとこと
四代目当主
高橋 幹雄さん

地元でしっかりと商売を手がけることを第一に、代々この業界に携わってきた者の使命として和菓子の良さを伝えていきます。

●主な設備
自動包餡機、二段釜オープン、回転式餡練り機

●主な取引先
JR九州リテール(株)、(株)トキハ、ヤマエ久野(株)、大分航空ターミナル(株)、(株)サンリブ

46 先手を打ち続ける加工食品メーカー

ユワキヤ醤油株式会社

独自の技術



OEM（相手先ブランド）による商品提供も積極的に展開している。大分県内に限らず全国から依頼を受け、ラベルや商品名などトータルで提案できる開発ノウハウを持つ。

自社の強み



長年にわたって「売り上げ向上」「原価管理」「リスクマネジメント」を経営の軸としてきた。こだわりを守りつつ、明確な経営ビジョンで先手を打ち続けている。

今後の展望



2018年夏には中国のEC（電子商取引）サイト「アリババ」に出店した。今後、訪日外国人（インバウンド）需要の取り込みや海外への販路開拓・拡大にも徐々に力を入れていく。



同社の多彩な商品群

地場農産物の特色を生かした商品開発力と販売力

多彩な商品

しょうゆやみその製造で伝統を重ね、1985年に発売した「かぼす風味ドレッシング」が土産物としてヒット。以降、同業他社に先駆けて加工品の製造販売に注力してきた。カボス、ニンニク、赤シソ、イチジクなど地元の農産物を生かした加工品の売り上げが約7割を占める程、商品ラインアップは多岐にわたる。

商品の魅力伝える

「楽天市場」が開設して間もない頃から出店し、インターネットを活用した販路拡大にいち早く取り組んできた。自社ホームページにレシピの紹介や動画コンテンツを盛り込むなど、商品の魅力を楽しく伝えるための工夫を凝らしている。



経営者から
ひとこと
代表取締役社長
門脇 正幸さん

今後も地道にぶれない商品開発をやっていきます。地域活性化の拠点になればと、2019年には自社近くに古民家カフェを開く予定です。

●主な設備
調味料製造設備、農産加工品製造設備、発酵食品製造設備（常温加熱室）

●主な取引先
県内外 約100社と取引
一般個人客約3万人以上と取引

ユワキヤ醤油株式会社

TEL 097-597-0238
MAIL info@yuwakiya.net
住所 大分市大字竹中3336
URL http://www.yuwakiya.net/
設立 1950年5月
資本金 1,000万円
従業員 15人

47 大分を代表する郷土料理を製造。 地域に根づいた食文化を発信

吉野食品有限会社

独自の技術



おにぎりは素材のうまみを生かすため、一つずつ手間をかけて握る。冷えても固くならないふんわりとした食感、空気をなじませながら握る手作りならではの技が生み出している。

自社の強み



鶏めしづくりを支えているのは、手作りのこだわりを守り続ける地域の人々の存在。目に見えない長年の経験やこつ積み重ねが、郷土の味として消費者の支持につながっている。

今後の展望



無理な販路拡大を追い求めず、自分たちの身の丈にあったスタンスを守り続ける。その上で地元大分産のコメや鶏肉、ゴボウのシンプルな素材にこだわりながら地域の食文化を発信していく。

吉野食品有限会社

TEL 097-595-0332
MAIL info@torimesi.jp
住所 大分市吉野原278番地
URL http://www.torimesi.jp/
設立 2003年12月
資本金 600万円
従業員 49人



大分を代表する郷土料理 鶏めし

素材や製法にこだわった鶏めし

地域の婦人会を中心に

大分市の吉野地区で家庭料理として親しまれてきた鶏めしの食文化を守るため、1988年に地域の婦人会が中心となって「吉野鶏めし保存会」を立ち上げたのが設立のきっかけ。その後、百貨店での催事などを通じて徐々に口コミで広がっていった。今では大分を代表する郷土料理として、おにぎりや「鶏めしの素」が大分県内のスーパーや駅、空港などで売られている。

1日6,000個

毎朝3時ごろから仕込みをはじめ、おにぎりは1日平均で約6,000個を作る。ネット通販で冷凍品のおにぎりなども販売し、口コミで全国各地から注文が入る程の評判となっている。



経営者から
ひとこと
代表取締役社長
帆足 政彦さん

当初は地域で働く場ができればとの思いで会社を立ち上げました。今後も保存会から続く伝統や地域性を守っていきます。

●主な設備

●主な取引先

(株)トキハ、イオン九州(株)、JR九州リテール(株)

48 独自のIT技術を活用。街歩きが わくわくする社会づくりに貢献

イジゲン株式会社

独自の技術



フィンテック（金融とITの融合）を駆使したサービスの開発でノウハウを培ってきた。その上で街中の回遊性向上や地域活性化に主眼を置くことで、独自性につなげている。

自社の強み



大分を軸に展開することで、事業化に向けたフィールドでの効果検証を素早く展開できるのがメリット。2018年にはベトナムに関連会社を設立し、開発力にも磨きをかけている。

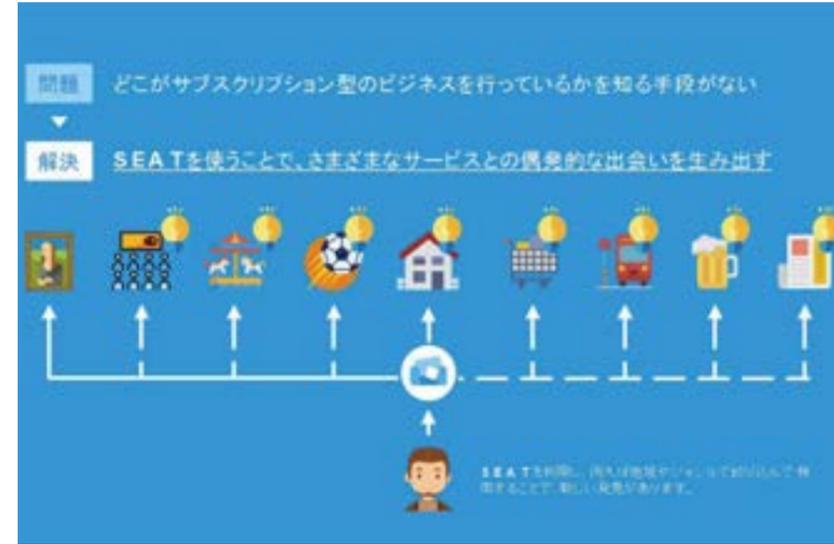
今後の展望



「SEAT」は地方都市を主なターゲットを広げていく方針。各種サービスに共通する「地方を面白く」をモットーに、大分発のスタートアップ企業としてロールモデルを築いていく。

イジゲン株式会社

TEL 097-574-4529
MAIL pr@ijgn.jp
住所 大分市金池町2-1-10ウオーカービル大分駅前3F
URL https://ijgn.jp
設立 2013年
資本金 1億7,450万円(資本準備金含む)
従業員 19人



消費者と企業をつなぐ新たな架け橋「SEAT」

企業と消費者をつなぐ地域のプラットフォーム

アプリで最優秀賞

ウェブ上での集客から実店舗へとつなぐ「オンライン・ツー・オフライン (O2O)」を軸としたシステムの開発を手がける。来店ポイントアプリ「AIRPO (エアポ)」は、「第12回大分県ビジネスプラングランプリ」で最優秀賞を獲得した。

定額サービス

2019年の本格展開へ力を入れているのが企業や店舗の定額サービスをまとめて紹介する「SEAT (シート)」。さまざまなサービスを検索でき、消費者にとっては申込時に各種情報を登録する手間が省ける。一方で企業側は会員管理や料金回収の負担を軽減できる。消費者と企業をつなぐ新たな架け橋として期待をかけている。



経営者から
ひとこと
代表取締役 CEO
鶴岡 英明さん

基本はマイペースな人たちが集まっていますが、探究心がある世の中の動きにアンテナを張り巡らせる仲間づくりをしています。

●主な設備

●主な取引先

(株)ディー・エヌ・エー、凸版印刷(株)、西日本鉄道(株)

49 環境検査機関向け製品で成長。 顧客の事業をトータルで支援

株式会社エイビス

独自の技術



環境検査機関向けソフトはパッケージと謳いながらも、各社各様の仕様で納品する。見積りから検査、請求までをカバーしており、ユーザーの分析・検査業務を支援する。

自社の強み



顧客ファーストの社風があるという。開発担当者でもお客様の目線で製造することによって高いユーザビリティを求めている。新しい技術にも挑戦し、最先端を提供している。

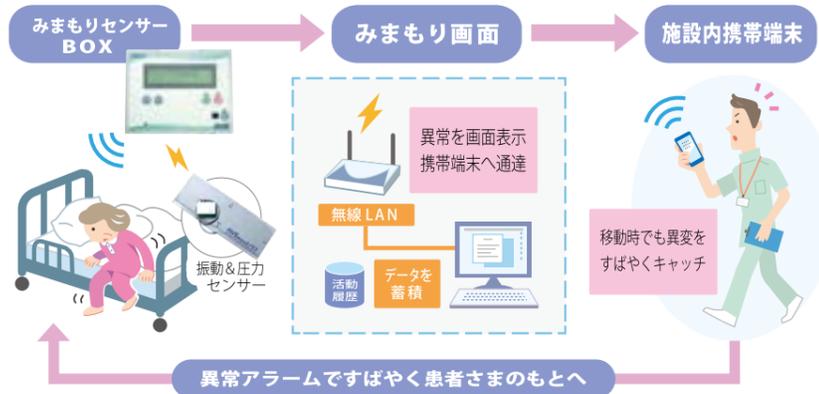
今後の展望



国際協力機構（JICA）の事業を活用し、みまもりシステムの海外展開を検討している。既にタイで実証を重ねており「価格面の検討は必要だが、高齢化社会におけるニーズは高い」（エイビス）とみる。

株式会社エイビス

TEL 097-536-0999
MAIL m_kubo@aivs.co.jp
住所 大分市金池町3丁目3番11号金池MGビル
URL https://www.aivs.co.jp/
設立 1997年
資本金 2,000万円
従業員 63人



病院・介護施設向けの「みまもりシステム」のイメージ

みまもりシステムの拡販目指す

全国にユーザー

各種コンピューターソフトウェアの開発と販売に携わる。環境検査機関向けのパッケージソフトで事業を伸ばした。水質検査や食品検査、大気測定など目的別に製品を用意しており、全国にユーザーがいる。

現在市場拡大を目指しているのが、2015年に完成した病院・介護施設向けの「みまもりシステム」だ。高齢者や要介護者の動態を把握し、ベッドから降りる気配を察知するとアラームで通知する。

ストレス感じない

複数のセンサーを利用しているため、誤報や失報が少ないのが特徴。カメラなどで監視するものではないのでストレスを感じさせず、取付が簡単という利点もある。



働く人の声

営業部
久保 雅紀さん

みまもりサービスは開発に苦労しました。最終的には国のロボット介護機器開発補助も活用し、ユーザーの声をしっかりと反映した製品ができたと思います。

●主な設備

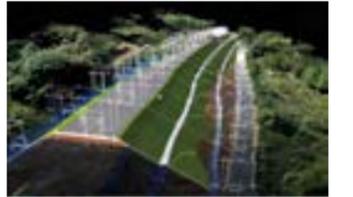
●主な取引先

全国の環境検査機関、自治体、病院、福祉施設、大手ITベンダー

50 独自の現場支援ツールを製作。 一歩先行く工事測量技術の確立へ

株式会社コイシ

独自の技術



建設業界で3次元データが着目される前からレーザースキャナーを活用するなど技術導入に積極的。工事測量技術を高めると同時に、自社製品やシステムの開発にもつなげている。

自社の強み



社内提案を基にした業務改善や新たな取り組みが受け入れられやすい社風がある。女性従業員を対象にフレックスタイム制を導入するなど柔軟な働き方の構築も進めている。

今後の展望



3次元レーザースキャナーを活用した「用地境界確認システム」は国土交通省の新技术情報提供システム「NETIS」に登録された。新たなシステムの開発で建設業界の慣習やイメージを変える取り組みを進めていく。



独自の支援ツールで工事測量現場をサポート

現場視点を意識した製品の開発

大規模工事に対応

九州を中心に全国の工事案件で施工測量を手がけている。土木の工事測量専門業者として現場の作業状況の変化を把握できる強みを生かし、大分川ダムをはじめ数年がかりの大規模工事にも対応できる技術を持つ。

工事測量関連システム

現場の作業効率化にも着目し、工事測量関連製品やシステムの開発に積極的に取り組んできた。「KOISHI-3D」と名付けたシステムは、3次元設計データと規格値を3次元でグラフィックス化し、そこに実測情報を重ねて表示することで、視覚的、数値的な確認と検証ができる仕組みを確立した。土木用計算機「丁張マン」は2016年に地域の優れた発明をたたえる公益社団法人発明協会の「地方発明表彰」において大分県知事賞を受賞している。



働く人の声

工事測量部
岩田 晃平さん

業界知識がなくても段階を追って学べる環境でなじむことができました。先輩方もフレンドリーで自由度が高い職場だと思います。

●主な設備

ドローン、地上レーザースキャナ

●主な取引先

建設会社

株式会社コイシ

TEL 097-506-0400
MAIL info@koishi.co.jp
住所 大分市大字横尾3617番2
URL http://www.koishi.co.jp/
設立 1988年
資本金 2,000万円
従業員 61人

51 企画提案から運用保守まで。各種管理システムで貢献

株式会社ガイナス

独自の技術



基幹システムだけでなく、タブレットやハンディターミナルなど現場に近いシステムの経験が豊富。更にIoT、AIなどの先端技術を活用することで使い勝手の良いシステムの構築を提案している。

自社の強み



システムの企画提案から、運用保守まで一貫して手がける。ソフトウェアの開発だけでなく、業務最適化の提案など国内各地の大規模ユーザーのシステム構築ノウハウを活かし、最適なソリューションを提供する。

今後の展望



ビジネスの拡大や、マーケットをアジア・世界に展開しようとしている企業をITの活用で下支えし、一緒に成長していくことで大分県内の企業を元気にしていくことを目指している。

株式会社ガイナス

TEL 097-547-8639

MAIL sales@zynas.co.jp

住所 大分市金池南1丁目5番1号コレジオ大分5階

URL http://www.zynas.co.jp

設立 2000年5月

資本金 7,200万円

従業員 163人



タブレットなどを活用して現場の効率化を実現

ITコンサルタントとしても高い評価

製造業系に強み

生産管理や販売管理などの業務基幹システム、タブレットなどを活用した現場の効率化システムの開発に携わる。特に製造業系の企業を得意とする。

また、企業にかかわるITコンサルタント業務も行っており、生産性向上や人手不足への対応を支援。近年ではAI（人工知能）やIoTの活用についてアドバイスを求められることも多いという。

技術を融合

企業向けの実績を多数積み重ねたことで、これらの技術を融合した提案ができることも大きな特色だ。山本竜伸取締役は「顧客に応じたベストソリューションを見つけながら、一件一件、ご相談に応じたい」と話す。



働く人の声
取締役 執行役員
イノベーション本部
本部長
山本 竜伸さん

ソフトウェアを作り上げるだけでなく、システムの運用や提案まで、困りごとに対して大手企業にはできないきめ細かいサポートを行っています。

●主な設備

●主な取引先

(株)ジョイフル、ジェイリース(株)、
株)タイセイ、(株)鳥繁産業、
日精(株)、(株)住理工九州

52 電気通信工事の進捗管理を実現。独自のwebシステムを開発

株式会社ネオマルス

独自の技術



新システムの導入により、手配、雑務管理の「見える化」を実現した。発注側である通信会社は誰がどのように工事を行っているか、現状の把握が容易だ。工事の品質管理の面でも効果が期待される。

自社の強み



通信会社の関連企業を対象に、独自のシステムである「STELLA」をカスタマイズし、外部への販売を始めた。煩雑な手配作業や進捗管理のスリム化に期待が寄せられている。

今後の展望



工事をしてほしい人と、仕事をしたい個人とを結びつけるマッチング事業の実現を目指す。簡易な補修工事など「会社に頼むほどではない仕事」(甲斐社長)に、職人の空き時間を活用する。

株式会社ネオマルス

TEL 097-573-3131

MAIL kanri@neomars.co.jp

住所 大分市都町2丁目1番10号

URL https://www.neomars.co.jp

設立 1991年

資本金 4,000万円

従業員 120人



「STELLA」の利用イメージ

通信各社の工事関連コスト削減に貢献

全国に600社

電気通信工事業が本業で、全国に600社ほどのパートナー企業がいる。受託した仕事をこれらのパートナーに割り振り実施するため、稼働の進捗管理を行うwebを使った独自のシステム「STELLA」を開発した。

弱電分野と呼ばれる宅内工事には調査、工事、立ち会いなどの作業がある。例えば通信回線の開通工事では工事発注者、通信会社、施工業者の三者調整業務があり、それぞれに担当がいる。各稼働の手配、事務連絡にかかる時間とコストが大きな課題となっていた。

ニーズと合致

そこで同社は独自のシステムを開発。回線開通工事など、工事関連コストを引き下げたい通信各社のニーズと合致し、同社のシステムは支持を集めている。



経営者からひとこと
代表取締役
甲斐 武彦さん

昨年、東京にあるリフォームの会社を買収しました。高齢化が進む中で、仕事と働く人のマッチングの機会を少しでも増やしていきたいと思っています。

●主な設備

●主な取引先

ソフトバンク(株)

53 業務用 IP 無線システムの革命児

モバイルクリエイイト株式会社

独自の技術



通信・サーバ・音声・動態・決済にコア技術を持ち、業務用 IP 無線システムによる音声サービスに加え、動態管理システムや決済システムを展開している。最近ではデジタルサイネージにも力を入れている。

自社の強み



交通運輸（物流・タクシー・バス）の顧客基盤が強み。システム導入車両は 11 万台を超え、特にタクシー配車システムは市場の 10%、バスロケーションシステムは市場の 15% のシェアを獲得している。継続的なサービスの提供によるストック収入も順調に増えており、フロー&ストックの成長モデルが特徴。

今後の展望



国内だけでなく海外事業も積極的に展開する。18 年にモバイルクリエイイト USA が現地のレッカー会社から IP 無線システム導入を初受注し、その後、導入が増加している。日本の約 17 倍の北米無線市場にて IP 無線を積極的に展開していく。

モバイルクリエイイト株式会社

TEL 097-576-8181
MAIL inquiry-mc@mcinc.jp
住所 大分市東大道 2 丁目 5 番 60 号
URL https://www.mcinc.jp/
設立 2002 年 12 月 27 日
資本金 3 億円
従業員 155 人



(左) IP 無線専用端末「IM-870」、(右) IP 無線アプリ「iMESH」

交通運輸業界を基盤に新分野への展開加速

つながる無線

2009 年に NTT ドコモの通信網を活用した業務用 IP 無線システムを発表した。基地局設置の初期投資を抑え、低コストで広域な通信エリアやクリアな音声通話を提供。「無線はつながらない」という常識を一変した。同システムを中核に GPS を使ったタクシーの配車システムやトラック・バスの動態運行管理システムを提供している。

新製品を投入

IP 無線の車載タイプで培ったノウハウをスマホアプリでも実現、ハンディタイプの専用端末を新たにリリースするとともに、車載タイプの新型も投入。いろんなデバイスをクラウドに繋げる IoT ゲートウェイとして新分野での展開を加速させる。



働く人の声
取締役
岐部 和久さん

大分県内のバス事業者 3 社（大分市・別府市）へのバスロケーションシステム導入が決まりました。事業者や利用者に喜んでいただけるよう、サービスの提供に取り組んでいきます。

●主な設備

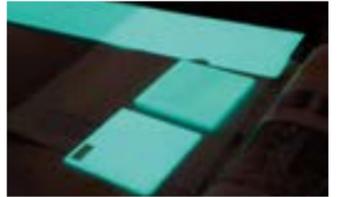
●主な取引先

タクシー事業者、バス事業者、物流事業者

54 高い性能の蓄光製品。ブルーの光で市場開く

株式会社インパクト

独自の技術



同社の蓄光製品は屋外での使用を想定して開発されており、耐久性、耐摩耗性に優れる。ブロック型のタイル用素材は石やコンクリートの複合材として利用が可能だ。

自社の強み

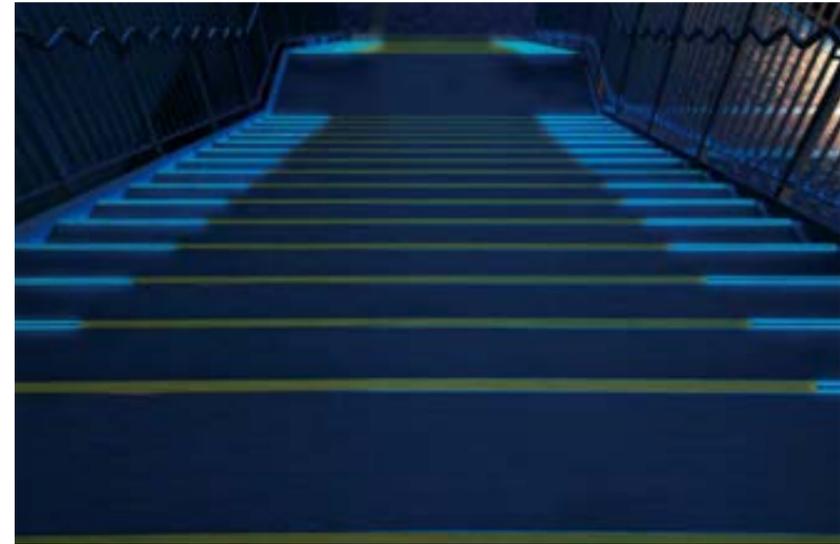


独自製品の無電源 LED 併用型蓄光看板は太陽光パネルを活用した独立電源を備える。1メートル四方を均一に発光でき、夜間でも 600 メートル離れた場所から見る事ができる視認性が売りだ。

今後の展望



実績を積み重ねた結果、大分市のトライアル認定制度の認証も取得した。これまでの実績を基礎に、他の公的機関での採用や設計段階での折込などにも期待がかかる。



暗闇でも明るい階段ステップ

地域の防災拠点構築に一役

輝度と蓄光性

災害発生時や電源喪失時に効果を発揮する電源を必要としない蓄光製品の開発、販売を手がける。同社の製品はその輝度と蓄光性が高く評価されており、大分県内各所で設置実績を増やしてきている。

2018 年度は大分市の公民館などに LED 併用製品が 12 台設置予定の他、「道の駅」などに蓄光ブロック製品等を納入予定である。

広がる市場

2017 年には大分市に開設された碩田学園で蓄光看板、階段ステップ、歩行誘導板などが採用された。同学園は地域の指定避難所であり、蓄光製品が防災拠点としての価値を高めている。

人間の心理的にも優しいとされる青緑色で発光するのが製品の特徴。夜間のイベントや照明を落としたスタジアムでの利用など、市場はまだまだ広がりそうだ。



経営者からひとこと
代表取締役
佐藤 美保恵さん

地震や津波、洪水など万が一のときの避難経路として、大分発の商品として当社独自のブルーの光の普及を目指します。

●主な設備

輝度計

●主な取引先

大分県、大分市、(株)菱晃、(株)オー・エヌ・シー、(株)ジー・エス・ユアサフィールディングス、(株)長尾製作所、(株)森硝子店

株式会社インパクト

TEL 097-574-8697
MAIL info@blue-impact.jp
住所 大分市東春日町17-20ソフトパークセンタービル2F
URL http://blue-impact.site/
設立 2012 年 5 月
資本金 2,000 万円
従業員 2 人

55 社会インフラを 縁の下で支える専門家集団

有限会社エス・エイ検査サービス

独自の技術



検査システム「デジタルラジオグラフィシステム」は構造物の内部を詳細に確認できるのが特徴。撮影後のデータを即時に確認でき、鉄鋼構造物や配管、各種機器の検査に強みを発揮する。

自社の強み



大分市内にある研修センターでは未経験者が一から学べるカリキュラムを構築。日本非破壊検査協会が定める各種資格の取得や現場に必要な技能を継続的に学び、技術者としての実力を身に付けることができる。

今後の展望



検査に必要な技能だけでなく各技術者のコミュニケーション能力を高め、専門企業としての強みを伸ばしていく。海外からの技術導入も積極的に進め、同業他社がまねできない独自性を追い求める。

有限会社エス・エイ検査サービス

TEL 097-503-0808
MAIL info@sa-service.com
住所 大分市高松東2丁目4番18号
URL http://www.sa-service.com/
設立 1997年
資本金 300万円
従業員 22名



構造物の傷や劣化を非破壊検査で調査する

新技術の積極的な導入による独自路線の追求

国外企業と提携

構造物の傷や劣化の状況を調べる非破壊検査。大分市内では珍しい専門企業として石油・化学プラントの検査を中心に展開している。イスラエルの非破壊検査装置メーカーと提携し、エックス線を照射して構造物の内部の状況を確認する検査システムを導入。同業の大手企業からも受注を請け負うなど、独自の検査技術を強みに業務エリアは全国に及ぶ。

インフラ維持の黒子役

かつては原子力発電所向けの検査を手がけるなど幅広い分野での検査実績も強みの一つ。関連会社の(株)ジェイテックと一体となった展開で、社会インフラの維持管理に欠かせない黒子役として歩み続けている。



経営者から
ひとこと
代表取締役
阿部 清治さん

どんな人でもスペシャリストになれるような人材育成に力を入れています。質の高いサービスを提供し、社員が現場で評価される集団を目指し続けます。

●主な設備

デジタルラジオグラフィシステム、
デジタルマイクロスコブ

●主な取引先

大手非破壊検査会社ほか

56 ガソリンとLPG両方が使える車を製造。 ニッチ市場のナンバーワンへ

株式会社エフ・ケイメカニック

独自の技術



車両の開発には約2年を要した。「現場の技術を勉強できる良い機会になった」と古川社長。この経験が礎となり、さまざまな車両でユニット化が実現できるようになった。

自社の強み



ポーランドの自動車部品メーカー・AC社の日本販売代理店を務める。車両の改造だけでなく、エフ・ケイ社が製作したガスユニットのみを購入したいという希望も多い。

今後の展望



既存車両のLPG化にとどまらず、電気自動車への改造なども今後ニーズが出てくると予想する。「ニッチな市場でオンリーワンになれる商材を目指していく」と古川社長。



LPG デュエルフューエル車の製造現場

タクシー会社からの依頼を機に開発

累計 2,200 台

自動車整備業者だが、ガソリンとLPG（液化天然ガス）の両方が使える自動車（LPG デュエルフューエル車）を製造する。現在までにタクシー会社や自動車学校、自治体向けなど約2,200台を販売してきた。メーターの取付業務で訪問していたタクシー会社から『ガスが使える車を作ってくれないか』と言われたのが開発のきっかけ。LPG車が普及している欧州へ足を運び、必要な部品をユニット化。日本車に適合するように取り付け、2005年から販売を始めた。

燃料費半分

車両の改造費用は工事費を含めて50～70万円。ひんぱんに自動車を利用する事業所であれば、ガソリンだけを利用する場合に比べて燃料費は半分になるという。



経営者から
ひとこと
代表取締役
古川 克巳さん

車両の開発には何度も壁にぶつかりました。でも、そこで立ち止まって考え、答えを出したことで、他のどんな商材でもやれるという自信になりました。

●主な設備

車両整備用リフト（4t）、
車載式故障診断機

●主な取引先

ダイプロ(株)、トヨタカローラ大分(株)、
岩谷産業(株)、ENEOS グローブエナジー(株)、
伊藤忠エネクス(株)、東邦ガス(株)、大阪ガス(株)

株式会社エフ・ケイメカニック

TEL 097-522-7555
MAIL info@fk-mechanic.co.jp
住所 大分市三佐6丁目2番21号
URL http://fk-mechanic.co.jp
設立 1998年
資本金 1,000万円
従業員 17人

57 海底工事で独自の装置が活躍。 新エネ分野へも進出

沿海開発工業株式会社

独自の技術



送水管やケーブルを設置する場合は波浪などからの障害を防ぐため海底面に埋める必要がある。同社は従来から自動埋設機を利用しており、海底の汚濁防止や工期短縮に貢献している。

自社の強み



同業の専門事業者は全国に数社しかおらず、30年を超える実績で顧客からの信頼は厚い。自動埋設機のほか、古いパイプラインを自動で回収する「残置回収装置」なども自社で開発している。

今後の展望



洋上風力発電施設で発電した電気を陸上へ送るための海底ケーブルの布設工事に今後本格参入する。既に千葉県銚子市や北九州市などでの実証実験に参加している。

沿海開発工業株式会社

TEL 097-549-7707

MAIL keiribu@enkai-kk.com

住所 大分市大石町5丁目3番1号

URL http://enkai-kk.com/

設立 1984年

資本金 1,000万円

従業員 13人



海上で海底送水管や海底ケーブルの布設工事を行う

離島のライフライン構築に貢献

工事機器を自社開発

水や電気など離島のライフラインとなる海底送水管や海底ケーブルの布設工事や防護工事を行う。

パイプラインの長さは、時には10キロメートル以上にも及ぶという。当初はダイバーの手作業などで行っていたが、独自に埋設装置を開発するなどして、正確で安全に施工するノウハウを身につけてきた。

復興に貢献

豊富な施工実績を生かして、現在は全国の港湾施設に「超音波式波浪観測装置」の設置も手がける。東日本大震災では他の事業者が施工した既設の装置が流されてしまった。復興に際して依頼を受け、同社の施工により新たな装置を設置した。



経営者から
ひとこと
代表取締役
山口 清子さん

80年代に施工した施設の多くが今後更新の時期を迎えます。これまで培った技術を生かして、我々の活躍の機会が増えそうです。

●主な設備

海底送水管などの布設台船、自動埋設機、小型作業船

●主な取引先

九州電力(株)、三井金属エンジニアリング(株)、昭和電線ケーブルシステム(株)

58 非破壊検査技術で事故を未然に防止。 独自の検査機器も開発

株式会社大川技研

独自の技術



施設に応じて適切な検査を行うために、装置の自社開発を行う。長い円筒状の施設を検査する際には、管内の内部を自走して検査する「管内挿入式連続厚さ測定システム」が活躍した。

自社の強み



2017年5月に塗装や金属加工を行うため、大分市内の工場を増設した。2.8トン×4基の天井クレーンを設置したほか、プラスト、塗装ブースを備える。

今後の展望



「検査や工事の世界にはわからないことがまだまだたくさんある」という北川社長。「IT(情報技術)やIoTを活用しながら、技術開発を進めたい」と意欲的だ。



プラント設備の隠れた問題点を見つけ出す非破壊検査

各種非破壊検査技術を駆使

自社で一手に

工場内のプラント設備の隠れた問題点を見つけ出す非破壊検査を主事業とする。同社の特徴は、本来はそれぞれの専門事業者が行う塗装や補修工事までも自社で行うことだ。全てを一社で請け負えることで発注側は別々にやりとりをする必要が無く、安全管理の面でもメリットがある。

カスタマイズ

非破壊検査業務は超音波やX線、放射線、磁気などあらゆる手法で行う。「プラントは人間と異なり一つひとつ構造が違う」(北川社長)ため、施設に応じてカスタマイズする。

検査で明らかになった問題点は、防食のための塗装、または部材の取り換えのための工事を行って事故を未然に防ぐ。



経営者から
ひとこと
代表取締役
北川 大滋さん

三つの業務全てにおいて、社員がしっかりした技術を保有して業務に携わっています。それぞれが大手に負けない技術レベルにあると自負しています。

●主な設備

X線照射装置、ガンマー線照射装置、デジタル撮影装置、プラスト設備、塗装設備、製缶設備

●主な取引先

昭和電工(株)、東海プラントエンジニアリング(株)、日鉄住金テックスエンジニア(株)、JXTGエネルギー(株)

株式会社大川技研

TEL 097-523-3888

MAIL info@ookawagiken.com

住所 大分市大字鶴崎1810番の1

URL http://www.ookawagiken.com

設立 1990年8月

資本金 1,000万円

従業員 79人

59 不定形耐火物の混練装置を自社開発。 海外での普及にも期待

株式会社木下築炉

独自の技術



独自の混練装置は正確かつ安全に、炉壁を作るための技術として確立しており、取引先からの信頼も厚い。

自社の強み



一級築炉技能士の資格を持つ安樂社長は、海外の技能者の指導をすることも。業界では職人の高齢化が進んでいるが、同社は社員の国家資格の取得を積極的に進めるなど技能の高度化を進めている。

今後の展望



フィリピンからの技能実習生を受け入れており、同国向けに製品・技術の輸出をはじめた。将来的には帰国した技能実習生が同社の混練装置を使って働いてもらうことも想定している。

株式会社木下築炉

TEL 097-523-0020
MAIL info@kinoshitachikuro.jp
住所 大分市大字迫817番地
URL http://kinochiku.co.jp
設立 平成6年9月
資本金 1,000万円
従業員 23人



独自開発した「キャストブル混練装置」

各種プラントや火葬炉などの耐火物を施工

多様なニーズに応える技術力

製鉄所や発電所などプラント関連の築炉工事のほか、火葬炉、ゴミ焼却炉などの耐火物工事を手がける。

目的に応じて多様な炉壁を作る築炉工事は職人の腕によるところが大きいことから、同社では社員の技能の高度化を進めるため、国家資格の取得を積極的に進めている。

工品質の安定を実現

他方で、職人の高齢化や人手不足に備えるため、同社は独自の「キャストブル（不定形耐火物）混練装置」を開発。この装置は炉壁の原料となるキャストブルを一定量投入することで、これに対応する量の水を均一に注ぐ機能となっており、混練時間についてもタイマーでセットできる仕組み。職人の腕に頼ることなく、装置により正確に混練作業が行われるため、製品のばらつきをなくし、工品質の安定を実現している。



経営者から
ひとこと
代表取締役
安樂 真澄さん

築炉工事は製造業がある限りなくならない技術です。当社の仕事は、自社開発した混練装置を使うことで、取引先からしっかりと信頼を得ています。

●主な設備
キャストブル耐火物混練装置

●主な取引先
王子マテリア(株)、AGC プライブリコ(株)、
地方自治体 ほか各種メーカー

「エピテーゼ」を通じ 心身ケアの一環に

株式会社クリエーション

独自の技術



群馬県で実績を持つエピテーゼ製作者の所に毎週通い、技能を磨いてきた。歯科技工士として義歯製作で培った技術が、再現度の高さや依頼者の安心感につながっている。

自社の強み



完成度を高めるために製作前のヒアリングに力を入れる。生活で不自由に感じていることから人となりに至るまで耳を傾け、依頼者の本当のニーズを時間をかけてじっくり探っていく。

今後の展望



全国的にエピテーゼを製作する業者はまだ少ない。動画投稿サイトを通じた情報発信や医療機関への働きかけなど、さまざまな方法を駆使しながら認知度向上を仕掛けていく。



医療用シリコーンを使い、肌の色や爪の形、血管、しみなどを細部まで忠実に再現する

欠損部分を自然に忠実に再現

人工ボディー

病気や事故で失った指や耳など体の一部を再現した人工ボディー「エピテーゼ」を2016年から製作している。身体機能の回復が重視される義手や義足と異なり、装着時の見た目に違和感がないのが特徴。肌の色や爪の形、血管、しみなど依頼者の身体的特徴を把握しながら、医療用シリコーンを使い手作業で忠実に再現している。

全国から注文

オーダーメイドによる依頼が主体だが、EC（電子商取引）サイトで既製品の販売も展開している。エピテーゼを試すきっかけとして全国から注文が入り、事業として広がりをみせている。



経営者から
ひとこと
代表取締役
黒崎 大介さん

まずはエピテーゼの裾野がさらに広がればと考えています。依頼者に喜んでもらうためにも、自分自身も楽しみながらさらなる可能性を追い求めます。

●主な設備

●主な取引先
各種医療機関

株式会社クリエーション

TEL 097-520-6232
MAIL creation@oct-net.ne.jp
住所 大分市公園通り1-6-26
URL -
設立 2008年5月
資本金 300万円
従業員 なし

61 子どもたちの発想力や想像力を養う器具・遊具づくり

後藤体器株式会社

独自の技術



自社工場では溶接や切削、塗装など器具の製造に必要なあらゆる加工が可能。1人で何役もこなすオールラウンダーたちの力によって受注生産に対応している。

自社の強み



「公園施設製品整備技士」の資格を持つ従業員が11人在籍。保守・修繕のエキスパートとして遊具や器具が設置される環境を熟知し、新たな案件での提案力向上にもつなげている。

今後の展望



新製品の開発を継続的に展開し、年齢や発育状況に合わせた遊具で競争力を高めていく。地道な取り組みから新たなアイデアやシーズを掘り起こし、さらなる信頼を構築する。

後藤体器株式会社

TEL 097-521-5100
MAIL g-taiki@pepland.co.jp
住所 大分市角子南1丁目2番18号
URL http://www.pepland.co.jp
設立 1960年
資本金 1,000万円
従業員 16人



子どもたちが安心して使える遊具や器具を提供

幅広いレパートリーで自社ブランド製品の開発にも注力

専業メーカー

学校で使うスポーツ器具や遊具の専業メーカーとして創業当時から跳び箱やシーソーなどを手がけ、幅広い製品レパートリーを持つ。デザインから設計、製造、設置まで一貫した体制を築き、大分県内を中心に公共施設や公園などさまざまな場所に納入してきた。設置済みの器具による事故を未然に防ぐための保守や修繕にも力を入れ、子どもたちが安心して使える環境を提供している。

自社ブランド製品

近年は自社ブランド製品の開発を強化しており、2015年に販売を開始した幼児用遊具「PAO」はパズル感覚でアイテムの組み合わせを楽しめるのが特徴。安全性能や独自の締結具で特許を取得し、全国展開している。



経営者からひとこと
代表取締役社長
後藤 芳正さん

子どもたちが安心してできるように遊具としての安全性を追求し、時代のニーズに応えながら遊びの価値を提供していきます。

●主な設備

旋盤、フライス盤、アイアンワーカー、溶接機、NCルーター、高温焼付乾燥設備

●主な取引先

大分県、大分市、幼稚園・保育園

62 患者の笑顔を生み出す県内最大規模の歯科技工所

有限会社ピーエムラボ

独自の技術



会社のスケールメリットを生かした分業制を採用している。新卒者は特定の工程に集中して技術を磨き、作業負担が少ない。スペシャリストの集団によって高い顧客満足度を獲得している。

自社の強み



患者負担が小さい口腔内スキャンに対応した3DCADシステムを導入している。石ころの印象変形がなく、精度の高いオーダー品を短納期で納品できる。価格や品質面で高い競争力を持つ。

今後の展望



現場の機械化と職場環境の改善によって人手確保に努める。営業面では成田デンタルとの協体制を強化。関東圏での受注を増加させ、売り上げ増を目指していく。



個人で異なる補綴物を一つ一つ製作する

現場の自動化で日本一働きやすい職場づくり

商社と協力

従業員が100人を超える、全国でも有数の歯科技工所。全国に営業拠点を持つ歯科技工関連の総合商社「成田デンタル」と営業面で協力、九州内外の歯科医院と取引がある。「歯」は医療だけでなく美容の観点からも注目度が高い。入れ歯や銀歯といった一般的なものから、1本10万円程度するような審美性の高い差し歯の製作を手がける。

自動化を推進

個人事業の技工士や結婚出産で離職した技工士を積極的に採用。「日本一働きやすい歯科技工所」を目指している。歯形は1人1人異なるため量産できず手作業が多いが、設備投資によって自動化を推進する。従業員が無理なく、長く働ける環境を整える。



経営者からひとこと
代表取締役社長
堤 大輔さん

高齢化の現在、医療は景気の波に左右されにくく、成長が見込める分野です。若手が活気づく弊社と一緒に働きましょう。

●主な設備

ミリングマシン、オストロマット、プレジデント

●主な取引先

全国の歯科医院、(株)成田デンタル

有限会社ピーエムラボ

TEL 097-558-1713
MAIL pmlabo10@triton.ocn.ne.jp
住所 大分市中津留2丁目6番20号
URL http://www.pmlabo.net
設立 1975年
資本金 1,200万円
従業員 101名

63 超高齢社会へ対応。高齢者、障がい者に配慮した理美容、介護・福祉機器を開発

有限会社ビューティフルライフ

独自の技術



大分市内にある自社店舗「Aya」はバリアフリーのモデル店。各種の開発製品は先ずここで実際に利用し、実用化の検証も行ない、(一社)テクノエイド協会の承認を受けて有効性調査等も実施している。

自社の強み



医療や介護等の専門家との連携により「福祉理美容ガイドブック」を出版した。高齢者等へのサービス提供においてどこに危険が潜んでいるかを把握した施術により他社との差別化を図る。

今後の展望



製品は、厚生労働省「人材確保等支援助成金(介護福祉機器助成コース)」対象製品として普及促進を図ると同時に、好評な使い捨てタオルやケープ等衛生用品の普及と販売拡大をめざす。

有限会社ビューティフルライフ

TEL 097-546-0666
MAIL info@be-life.info
住所 大分市大字三芳939番地の15
URL http://www.be-life.info/
設立 2000年5月
資本金 300万円
従業員 22人



多機能いすとウォッシュサポートを利用しフットケアをする医療現場

ボランティア活動きっかけに次々と製品化

自ら開発

もともと理容師として活躍していた田中社長。ボランティア活動の一環で高齢者施設や福祉施設への訪問理美容を行っていた。

事業化後の現在は150ほどの契約施設を訪問するという同社。訪問理美容の現場では高齢者や障がい者の実態に配慮した機器がなく、現場では対応に苦慮していた。同社はものづくりの経験が無いにもかかわらず、自ら福祉理美容用品の開発に取り組むこととなった。

特許も取得

開発した福祉用車いすをはじめ、洗浄用パウエル、体圧分散クッションなどを、専門家の意見も取り入れながら自社で開発してきた。また医療現場でも利用できるように、国内外の特許等を取得している。



経営者からひとこと
代表取締役
田中 晃一さん

「地域包括ケア」に理美容として貢献する機器や消耗品ですが、フットケア・口腔ケアなど、在宅療養・介護で活用されることを願っています。

●主な設備
移動理美容車(施設訪問用)

●主な取引先
㈱ダリア、㈱アステム、医療機関、介護・福祉施設

64 微生物を用いた固液分離式バイオトイレで成長

株式会社ミカサ

独自の技術



二つの処理槽を使った処理方式は独自のもの。また、杉のチップを使っているのも特色だ。もみ殻やおがくずを使うものに比べて長期間利用することができ、メンテナンスの負担が小さいという。

自社の強み



三笠社長は「25年以上事業を継続してきたこと」を強みに挙げる。自己処理型トイレ業界は新規参入と撤退が繰り返されている。そんな中で長年事業を続けた同社に対する顧客からの信頼は厚い。

今後の展望



技術開発は自社の基盤であり、IoTを使った遠隔監視型や、他の処理技術と組み合わせたハイブリッド型など、今後の開発にも意欲的。新方式のトイレの発売もそう遠い日の話ではなさそうだ。



固液分離式を採用したバイオトイレ

建設現場ではレンタル方式が人気

参入から四半世紀

山間地や建設現場で使われる自己処理型トイレの製造販売を手がける。25年前に燃料式トイレで業界に参入し、試行錯誤を続ける中で現在の微生物の力で処理を行うバイオトイレに行き着いた。

レンタルが人気

異なる目的の二つの槽を用いた方式を採用し、水を使わず、臭いも少ないのが特色。固体と液体を分離することにより処理の効率を高める。杉のチップが入った第1槽で固形物をかき混ぜ、網を通過した液体は第2槽で曝気(ばっき)処理を行い、蒸発を促す仕組みとなっている。

バイオトイレの売り上げの4分の1は、レンタル方式によるもの。建設現場などでの人気が高い。



経営者からひとこと
代表取締役
三笠 大志さん

被災地やイベント会場など目的に応じたトイレをお届けできるよう、同業他社と自己処理型トイレ研究会を設立し、最適なトイレを提供しています。

●主な設備

●主な取引先
全国の地方自治体、
㈱九建、㈱管組

株式会社ミカサ

TEL 097-551-8826
MAIL info@mikalet.jp
住所 大分市高城西町7-27
URL https://www.mikalet.jp/
設立 1989年
資本金 1,000万円
従業員 6人

65 | さまざまな造作物に対応。 繊細さから生み出される迫力の産業模型

わこう
有限会社和巧

独自の技術



建築や土木などジャンルに特化した同業者が多い中、さまざまな造作物の製作に対応できるのが強み。自社ブランド製品も精巧な技術に注目した模型雑誌からの思わぬ反応をきっかけに生まれた。

自社の強み



模型の出来を左右するのは製作前の打ち合わせ。依頼者のニーズを探る中で細かな仕様や納期、効率性に反映している。製作に使う樹脂など素材に関する情報収集も精度を高める上で欠かせない。

今後の展望



主力の産業模型製作は、特殊な依頼にも応えながら同業者にはない技術的な強みを伸ばす。自社ブランド製品は海外からも反響もあり、一般の人々が模型に親しむきっかけとして期待を寄せる。



展示用の精巧な地形図などを製作

多彩な製作実績が新たな広がりへ

入札案件も受注

建築物や地形図、文化施設の展示物といった産業模型を製作している。設計事務所やディスプレイデザイン会社からの受注を中心に関東以西の幅広い案件に携わり、大手ゼネコンのコンペで使われる模型も手がける。近年は自治体施設の直接入札案件を受注するなど自社でも積極的な動きを展開する。

ペーパークラフト

模型製作で培ったノウハウを生かし、再生紙をレーザー加工した自社ブランドのペーパークラフト「紙創り」も手がけている。繊細な造形で植物を再現した製品は約100種類をそろえ、東京や静岡の展示会にも出展。大手模型メーカーとコラボレーションした製品も製作している。



経営者から
ひとこと
代表取締役
堀 博章さん

特殊な仕事ですが世の中になくはない仕事だと思っています。今後も人に役立つという自負を持ってニーズに応じていきます。

●主な設備

炭酸ガスレーザー加工機

●主な取引先

大手設計事務所、ゼネコン、広告代理店、自治体

有限会社和巧

TEL 097-556-7675

MAIL hori@model-wako.co.jp

住所 大分市大洲浜2丁目2番30号

URL http://www.model-wako.co.jp

設立 1986年

資本金 300万円

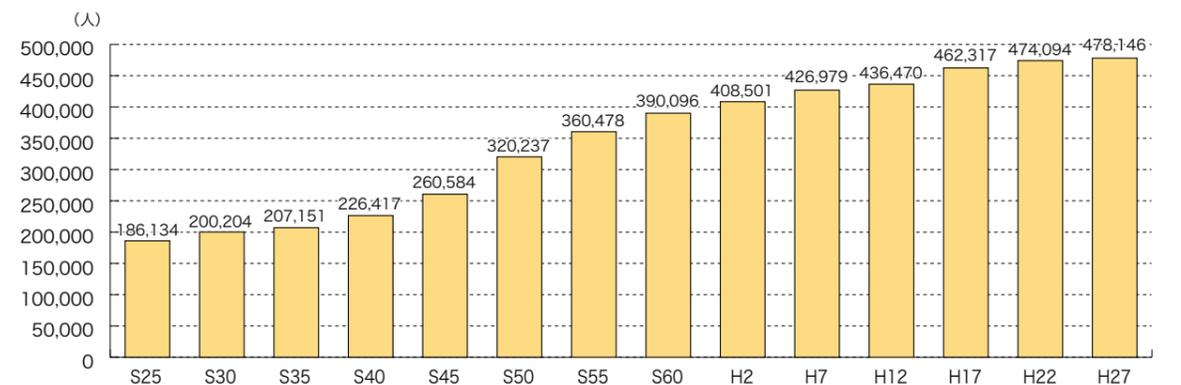
従業員 2人



大分市の人口推移

昭和39年の新産業都市指定以降、人口の増加ペースが急伸。

※大分県が公表した平成30年10月1日現在の人口推計によると、大分市の人口は478,113人と減少に転じている。



資料：総務省「国勢調査」により作成。

製造業の状況

「事業所数」や「従業者数」の全国順位に比べ、「原材料使用額等」「製造品出荷額等」が上位に位置している。素材型を中心とした製造業が活発であることが読み取れる。

	全国	大分県	大分市	大分市の順位
事業所数	191,339	1,472	381	全国 90 位・県内 1 位
従業者数	7,571,369	65,942	22,264	全国 49 位・県内 1 位
現金給与総額(百万円)	33,665,749	265,145	102,099	全国 56 位・県内 1 位
原材料使用額等(百万円)	185,957,475	2,632,539	1,653,806	全国 13 位・県内 1 位
製造品出荷額等(百万円)	302,035,590	3,694,883	2,243,313	全国 14 位・県内 1 位
付加価値額(百万円)	97,232,364	824,701	516,555	全国 29 位・県内 1 位

資料：経済産業省「平成29年工業統計調査」

製造業の産業中分類別事業所数

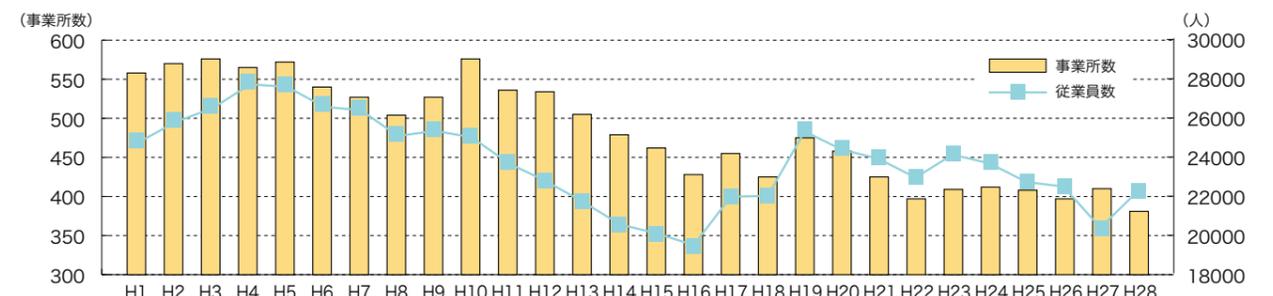
臨海部の鉄鋼や石油化学、内陸部の精密機械など、国内を代表する大手企業の業種を反映して、金属製品製造業や化学工業、石油・石炭製品製造業の割合が高いほか、印刷・同関連業の割合も高い。

区分	全国		大分県		大分市	
	事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合
総数	191,339	100.0%	1,472	100.0%	381	100.0%
食品製造業	25,466	13.3%	286	19.4%	55	14.4%
飲料・たばこ・飼料製造業	3,996	2.1%	62	4.2%	1	0.3%
繊維工業	12,171	6.4%	69	4.7%	21	5.5%
木材・木製品製造業	5,129	2.7%	128	8.7%	11	2.9%
家具・装備品製造業	5,092	2.7%	62	4.2%	12	3.1%
パルプ・紙・紙加工品製造業	5,609	2.9%	20	1.4%	5	1.3%
印刷・同関連業	10,589	5.5%	68	4.6%	33	8.7%
化学工業	4,599	2.4%	34	2.3%	21	5.5%
石油製品・石炭製品製造業	912	0.5%	11	0.7%	6	1.6%
プラスチック製品製造業	12,349	6.5%	76	5.2%	9	2.4%
ゴム製品製造業	2,384	1.2%	16	1.1%	2	0.5%
なめし皮・同製品・毛皮製造業	1,271	0.7%	3	0.2%	0	0.0%
窯業・土石製品製造業	9,514	5.0%	121	8.2%	31	8.1%
鉄鋼業	4,066	2.1%	15	1.0%	10	2.6%
非鉄金属製造業	2,514	1.3%	12	0.8%	5	1.3%
金属製品製造業	25,579	13.4%	140	9.5%	64	16.8%
はん用機械器具製造業	6,767	3.5%	32	2.2%	12	3.1%
生産用機械器具製造業	18,535	9.7%	78	5.3%	28	7.3%
業務用機械器具製造業	3,950	2.1%	15	1.0%	6	1.6%
電子部品・デバイス・電子回路製造業	4,003	2.1%	29	2.0%	7	1.8%
電気機械器具製造業	8,507	4.4%	43	2.9%	17	4.5%
情報通信機械器具製造業	1,300	0.7%	14	1.0%	3	0.8%
輸送用機械器具製造業	9,991	5.2%	100	6.8%	9	2.4%
その他の製造業	7,046	3.7%	38	2.6%	13	3.4%

資料：経済産業省「平成29年工業統計調査」

製造業の事業所数・従業者数の推移

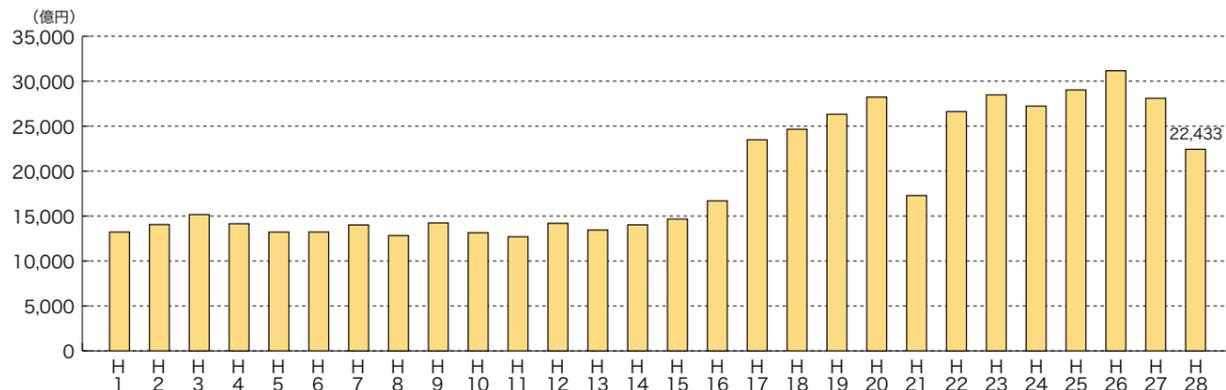
バブル崩壊以降減少を続けていた従業者数、事業所数も国内経済の安定に伴い、徐々に回復。厳しい環境をくぐり抜けた事業所が安定した事業を継続している。



資料：経済産業省「工業統計調査」により作成。

製造品出荷額等の推移

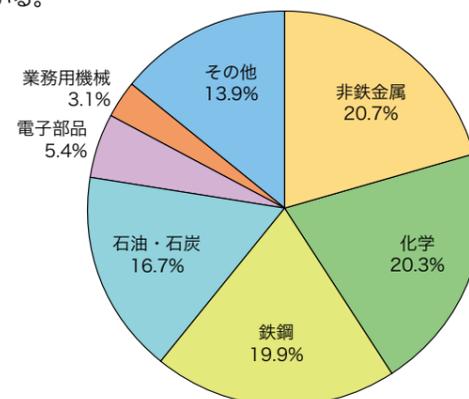
近年は高いレベルでの出荷が続いている。平成17年度を境に大きな伸びが見られるが、大手進出企業の新規設備投資などが効果をもたらしたと推測される。



資料：経済産業省「工業統計調査」により作成。

製造品出荷額等の業種別構成比

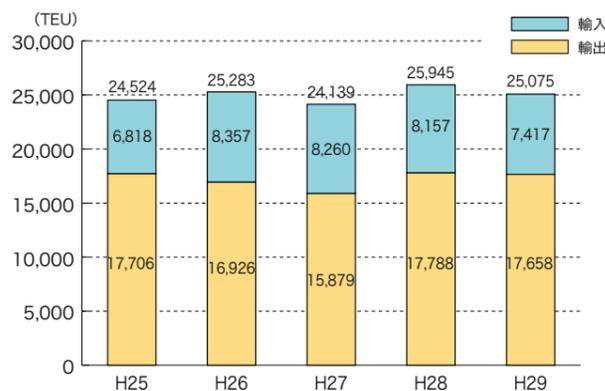
臨海部に立地する国内を代表する大手企業の業種を反映して、銅(非鉄金属)や化学、鉄鋼、石油・石炭で全体の約8割近くを占めている。



資料：経済産業省「平成29年工業統計調査」

大分港大在コンテナターミナルの取扱実入りコンテナ数の推移

瀬戸内海に面する大在コンテナターミナルは、水深14メートルの大型岸壁を整備。韓国・釜山、中国・上海などと定期航路を有しており、輸入・輸出とも安定した取扱が続いている。

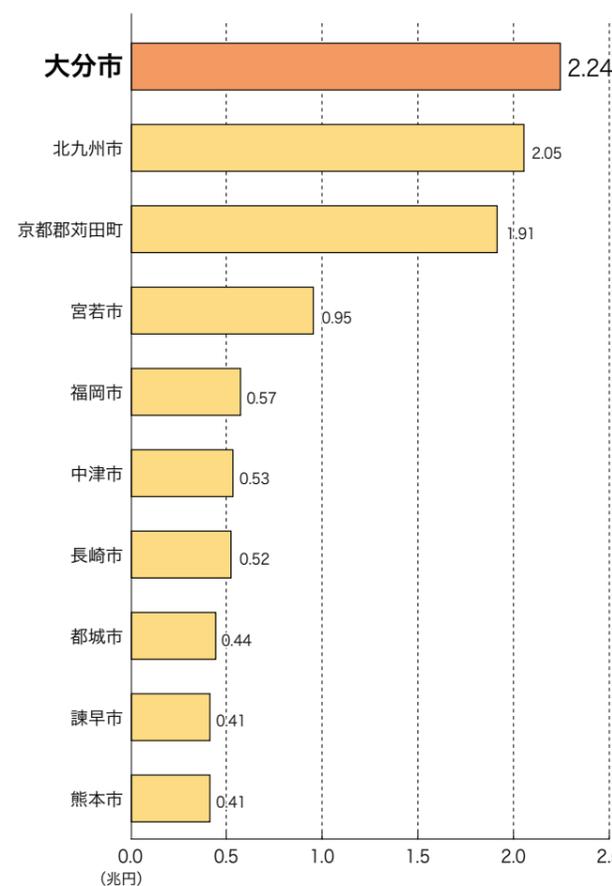


資料：大分県ポートセールス実行委員会「大分港大在コンテナターミナルにおけるコンテナ取扱量の推移」

※「実入りコンテナ」：貨物の入った輸送用のコンテナ
 ※「TEU」：「Twenty-foot Equivalent Unit」の略で、20フィート(長さ約6m)のコンテナに換算したコンテナ個数の単位。

九州内の市町村のうち製造品出荷額等の上位10市

古くから工業都市で知られる北九州市や、自動車生産メーカーが立地する福岡県の苅田町、宮若市などを抑えて、首位に位置している。



資料：経済産業省「平成29年工業統計調査」

INDEX

あ

01 有相澤鉄工所 4
 02 株安達化工機 5
 19 EAMS JAPAN(株) 22
 31 池見林産工業(株) 34
 20 株石井工作研究所 23
 48 イジゲン(株) 51
 33 有イトダネーム 36
 54 株インパクト 57
 49 株エイビス 52
 21 有エービー精工 24
 55 有エス・エイ検査サービス 58
 27 エスティケイテクノロジー(株) 25
 03 株江藤製作所 6
 23 エネフォレスト(株) 26
 56 株エフ・ケイメカニク 59
 57 沿海開発工業(株) 60
 30 大分デバイステクノロジー(株) 33
 58 株大川技研 61
 04 株大倉 7
 34 株太田旗店 37
 05 株オカモト 8

か

38 春日印刷(有) 41
 59 株木下築炉 62
 35 株キューメイ研究所 38
 06 有共立精巧 9
 07 株KYOWA 10
 39 極東印刷紙工(株) 42
 60 株クリエーション 63
 50 株コイシ 53
 61 後藤体器(株) 64
 42 有古山乳業 45

さ

40 佐伯印刷(株) 43
 51 株ザイナス 54
 43 株ざびえる本舗 46
 08 株三邦 11
 36 株サンライズ 39
 44 株シーアール 47
 24 ciRobotics(株) 27
 25 シェルエレクトロニクス(株) 28
 26 菅原工業(株) 29

た

27 株ターボブレード 30
 28 タカキ製作所(株) 31
 45 御菓子司 高橋水月堂 48
 37 有高橋木工製作所 35
 41 株高山活版社 44
 09 有ツルタ精密 12
 10 株トライテック 13

な

11 有中野ステンレス 14
 12 有中村設備工業 15
 13 ニシジマ精機(株)大分工場 16
 37 日本フィルム(株) 40
 14 株日本ビット 17
 52 株ネオマルス 55

は

62 有ピーエムラボ 65
 15 有飛田機械 18
 63 有ビューティフルライフ 66
 29 株ブライテック 32
 16 有ハウザキ 19

ま

64 株ミカサ 67
 17 株宮地鐵工所 20
 53 モバイルクリエイト(株) 56

や

18 有山順工業 21
 46 ユフキヤ醤油(株) 49
 47 吉野食品(有) 50

わ

65 有和巧 68

当ガイドブックの内容は大分市ホームページにてご覧いただけます。

URL <https://www.city.oita.oita.jp/o154/shigotosangyo/shokogyo/monodukurigaido.html>



1. 企業立地促進助成制度

対象業種：製造業（製造業以外の産業については、情報通信関連産業支援助成制度の対象産業を除き、かつ、県・市等により造成した工場用地への立地であれば対象）

対象要件：「設備投資額」+「新規雇用従業員数」の両方の要件を満たすこと

業種	設備投資額	新規雇用従業員数
製造業 県・市等により造成した 工場用地へ立地する企業	新設 10億円以上(中小企業1億円以上)	新設 20人以上(中小企業5人以上)
	増設、移設 10億円以上(中小企業5千万円以上)	増設、移設 10人以上(中小企業2人以上)

助成内容：

助成金の種類	助成額	限度額	合計限度額
設備投資助成金	設備投資額×6%以内の額	5億円	5億円
雇用促進助成金	新規雇用従業員 [※] の数×50万円	1億円	

※正規雇用、非正規雇用の別は問わないが、雇用保険法(昭和49年法律第116号)第4条第1項に規定する被保険者であり、大分市内に居住する者であることが要件。

大分市では他にも、情報通信関連産業支援助成制度(IT系事業、コールセンター業等に対する助成制度)、本社機能移転促進助成制度(企業の本社機能移転、拡充に関する助成制度)といった各種助成制度を設けています。

いずれも各種要件がありますので、詳しくは下記URLまたはQRコードからご覧いただくか、大分市創業経営支援課(TEL:097-537-7014)にお問い合わせください。

詳しくはこちらから

URL <http://www.city.oita.oita.jp/o155/shigotosangyo/kigyoshien/1493016041861.html>



2. ふるさと大分市応援寄附金推進事業

本市では、ふるさと納税をとおして市の魅力発信や地場産業の活性化につなげていくため5千円以上の個人寄附者へ返礼品として、本市の特産品等を贈呈しています。全国ブランドである「関あじ・関さば」や「豊後牛」など400品目を超える返礼品をご用意しています。返礼品の詳細については、下記URLまたはQRコードからご覧ください。



※写真はイメージです。

詳しくはこちらから

URL <https://www.furusato-tax.jp/city/product/44201>



おおいたものづくり企業ガイドブック
GUIDE BOOK 2018

発行 大分市商工労働観光部商工労働課
 〒870-8504大分県大分市荷揚町2番31号
 TEL 097-585-6011(直通)
 e-mail kougyou@city.oita.oita.jp
 URL <https://www.city.oita.oita.jp/>